

社団法人 日本学生陸上競技連合

会 報

第125号 2010年1月1日発行

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル 2階

電話 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

URL <http://www.iuau.jp/>

2010年を迎えて

あけましておめでとうございます。

昨年は、第25回ユニバーシアード・ベオグラード大会が開催され、多くの学生競技者が出場し史上最高の活躍をいたしました。また学生記録は、男子のべ4種目、女子のべ6種目で更新されるというシーズンとなりました。その一方で、競技会運営、また競技日程の過密化などの課題も見受けられました。山積する問題の解決にも学生陸上界全体で取り組み、一層の充実発展を目指さなければなりません。

学生競技者にとっては、学問とスポーツを両立しながらトレーニングに励み、第26回ユニバーシアード・深圳大会、第13回世界選手権・テグ大会等での活躍を目標に、しっかりと力を蓄える年としていかなければなりません。また、トレーニングに励む仲間たちと共により意義深い競技生活を送ることになりましょう。

指導者の方々におかれましては、今年も学生競技者が最高のパフォーマンスを発揮できる年となるように、ご指導の程をよろしくお願いいたします。

さて、日本学生陸上競技界がより一層向上し、進展していくためには、日本学生陸上競技連合の組織としての努力も大切な課題であります。幅広い協議を展開し、より合理的な運営を実践していくことが重要であると自覚しております。

ご関係の皆様には、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、年初めの所感をお送りいたします。

2010年1月

社団法人 日本学生陸上競技連合

会長 保利 耕輔

第21回出雲全日本大学選抜駅伝競走大会

主 催：社団法人日本学生陸上競技連合/出雲市
主 管：出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会
運営協力：中国四国学生陸上競技連盟/島根陸上競技協会/出雲市陸上競技協会
後 援：島根県/島根県教育委員会/財団法人島根県体育協会/斐川町/フジテレビジョン/産経新聞社/
サンケイスポーツ/ニッポン放送/山陰中央テレビ/山陰中央新報社/エフエム山陰
協 賛：富士通株式会社
期 日：平成21年(2009年) 10月12日(月・祝)
コ ー ス：スタート・出雲大社正面鳥居前⇒フィニッシュ・出雲ドーム前 6区間 44.5km

【優勝監督賞】

氏名	大学名
小山 裕三	日本大学

【気象条件】

時刻	天候	気温	湿度	風向	風速
13:05	晴	24.0℃	39%	西	2.0m/s
15:00	晴	24.0℃	39%	西南西	1.3m/s

【総合成績表】

★：区間新 ☆：区間タイ 上段：選手氏名 中段：通過記録（順位） 下段：区間記録（順位）

順位	チーム名 記録	第1区 (8.0km) 出雲大社正面鳥居前～ 出雲市役所前	第2区 (5.8km) 出雲市役所前～ 斐川直江	第3区 (7.9km) 斐川直江～ 平田中ノ島	第4区 (6.2km) 平田中ノ島～ 彦根コミュニティセンター前	第5区 (6.4km) 彦根コミュニティセンター前～ 島根ワイナリー前	第6区 (10.2km) 島根ワイナリー前～ 出雲ドーム前
1	日本大学 2:10:07	ガンドウ・ベンジャミン (3) 23:02 (3) 23:02	谷口 恭悠 (5) 39:42 (6) 16:40	佐藤 佑輔 (3) 1:03:02 (4) 23:20	堂本 尚寛 (2) 1:21:51 (7) 18:49	池谷健太郎 (5) 1:41:50 (9) 19:59	ギタウ・ダニエル (1) 2:10:07 ★(1) 28:17
2	山梨学院大学 2:10:26	後藤 敬 (10) 23:41 (10) 23:41	松本 葵 (7) 40:05 (3) 16:24	高瀬 無量 (7) 1:03:27 (5) 23:22	大谷 健太 (1) 1:22:10 (4) 18:43	大谷 康太 (1) 1:41:09 (1) 18:59	オンディバ・コスマス (2) 2:10:26 (2) 29:17
3	東洋大学 2:11:19	柏原 竜二 (2) 22:50 ☆(2) 22:50	山本 憲二 (1) 39:30 (6) 16:40	渡邊 公志 (8) 1:03:34 (13) 24:04	川上 遼平 (6) 1:22:07 (1) 18:33	佐藤 寛才 (2) 1:41:12 (2) 19:05	高見 諒 (3) 2:11:19 (5) 30:07
4	早稲田大学 2:11:22	矢澤 曜 (4) 23:10 (4) 23:10	八木 勇樹 (6) 39:46 (5) 16:36	尾崎 貴宏 (2) 1:02:53 (2) 23:07	佐々木寛文 (1) 1:21:27 (2) 18:34	中山 卓也 (3) 1:41:17 (7) 19:50	平賀 翔太 (4) 2:11:22 (4) 30:05
5	中央大学 2:12:24	棟方 雄己 (8) 23:35 (8) 23:35	野脇 勇志 (10) 40:23 (8) 16:48	山本 庸平 (11) 1:04:12 (11) 23:49	辻 幸佑 (10) 1:22:51 (3) 18:39	高橋 靖 (7) 1:41:56 (2) 19:05	大石 港与 (5) 2:12:24 (6) 30:28
6	立命館大学 2:12:35	田中 裕之 (13) 23:42 (13) 23:42	今崎 俊樹 (9) 40:16 (4) 16:34	藤原 庸平 (10) 1:04:01 (9) 23:45	詫間 礼斗 (9) 1:22:49 (6) 18:48	寺本 英司 (8) 1:42:04 (4) 19:15	西野 智也 (6) 2:12:35 (7) 30:31
7	第一工業大学 2:12:50	キラグ・ジュグナ (1) 22:30 ★(1) 22:30	厚地 翔太 (3) 39:35 (14) 17:05	山元 綾 (5) 1:03:22 (10) 23:47	ワンジョビ・カルイル (5) 1:22:07 (5) 18:45	松木 祐二 (4) 1:41:33 (5) 19:26	谷口 亮 (7) 2:12:50 (11) 31:17
8	京都産業大学 2:13:26	三岡 大樹 (5) 23:11 (5) 23:11	林 和貴 (2) 39:30 ★(1) 16:19	住本 雅仁 (4) 1:03:08 (6) 23:38	野田 一貴 (4) 1:22:05 (8) 18:57	黒川 優気 (6) 1:41:55 (7) 19:50	奥野 雅史 (8) 2:13:26 (14) 31:31
9	大東文化大学 2:13:46	清野 篤 (14) 23:49 (14) 23:49	成田 匠平 (14) 40:44 (11) 16:55	佐藤 歩 (12) 1:04:23 (7) 23:39	秋山 拓平 (11) 1:23:23 (9) 19:00	高関 伸 (10) 1:42:59 (6) 19:36	高橋 賢人 (9) 2:13:46 (10) 30:47
10	駒澤大学 2:13:51	高林 祐介 (11) 23:41 (11) 23:41	馬越 幹成 (12) 40:38 (12) 16:57	宇賀地 強 (6) 1:03:26 (1) 22:48	岡本 尚文 (8) 1:22:45 (11) 19:19	早瀬 祐樹 (11) 1:43:05 (14) 20:20	手塚 佳宏 (10) 2:13:51 (9) 30:46

順位	チーム名 記録	第1区 (8.0km)	第2区 (5.8km)	第3区 (7.9km)	第4区 (6.2km)	第5区 (6.4km)	第6区 (10.2km)
		出雲大社正面鳥居前～ 出雲市役所前	出雲市役所前～ 斐川直江	斐川直江～ 平田中ノ島	平田中ノ島～ 鳥巣コミュニティセンター前	鳥巣コミュニティセンター前～ 鳥根ワイナリー前	鳥根ワイナリー前～ 出雲ドーム前
11	中央学院大学 2:13:54	塚本 千仁 (6) 23:17 (6) 23:17	三浦 隆稔 (4) 39:40 (2) 16:23	渡邊 嵩仁 (1) 1:02:49 (3) 23:09	沖坂 佐鶴 (3) 1:21:57 (10) 19:08	板屋 祐樹 (9) 1:42:05 (10) 20:08	室田 祐司 (11) 2:13:54 (15) 31:49
12	明治大学 2:14:25	鎧坂 哲哉 (9) 23:38 (9) 23:38	菊地 賢人 (11) 40:30 (10) 16:52	遠藤 寿寛 (14) 1:04:48 (14) 24:18	北條 尚 (13) 1:24:19 (12) 19:31	田原 淳平 (12) 1:44:38 (12) 20:19	石川 卓哉 (12) 2:14:25 (3) 29:47
13	米国 IVY 選抜 2:15:10	Ben True (ダートマス大) (7) 23:21 (7) 23:21	David Nightingale (プリンストン大) (8) 40:09 (8) 16:48	Zachary Hine (コーネル大) (9) 1:03:49 (8) 23:40	Jordan Kinley (ブラウン大) (12) 1:23:49 (15) 20:00	Murat kayali (エール大) (13) 1:44:39 (15) 20:50	Lucas Meyer (エール大) (13) 2:15:10 (7) 30:31
14	日本文理大学 2:16:24	吉田 亮太 (12) 23:42 (12) 23:42	内田 恒三 (13) 40:44 (13) 17:02	佐竹 一弘 (13) 1:04:35 (12) 23:51	原 知明 (14) 1:24:42 (16) 20:07	伊波 航 (14) 1:45:01 (12) 20:19	高木 和夫 (14) 2:16:24 (13) 31:23
15	愛知工業大学 2:18:17	中山 祐平 (18) 24:36 (18) 24:36	金谷 将史 (17) 42:16 (17) 17:40	大原 司 (17) 1:07:17 (15) 25:01	伊藤 彰洋 (16) 1:26:49 (13) 19:32	田中 智博 (15) 1:47:00 (11) 20:11	長坂 公靖 (15) 2:18:17 (11) 31:17
16	北信越学連選抜 2:21:33	佐藤 隆史 (信州大) (16) 24:26 (16) 24:26	村澤 陽介 (信州大) (16) 42:00 (15) 17:34	牛木 陽一 (新潟医福大) (16) 1:07:11 (16) 25:11	中澤 翔 (新潟医福大) (15) 1:26:47 (14) 19:36	楠本 康博 (富山大) (16) 1:47:42 (17) 20:55	久保 暢大 (新潟大) (16) 2:21:33 (21) 33:51
17	中国四国学連選抜 2:21:41	三賀森智哉 (島根大) (17) 24:33 (17) 24:33	監物 稔浩 (環太平洋大) (18) 42:27 (18) 17:54	竹下 英伸 (広大) (18) 1:07:54 (20) 25:27	村田 総 (福山大) (18) 1:28:11 (17) 20:17	中岡 祐介 (岡山商科大) (17) 1:49:03 (16) 20:52	島尾 佳宏 (鳥取大) (17) 2:21:41 (18) 32:38
18	久留米大学 2:22:09	徹島 翼 (19) 24:52 (19) 24:52	志熊 克成 (19) 43:10 (21) 18:18	阪田 浩平 (19) 1:08:26 (17) 25:16	安村 浩志 (19) 1:28:45 (18) 20:19	竹口 俊 (19) 1:49:42 (18) 20:57	中尾 喜大 (18) 2:22:09 (17) 32:27
19	北海道学連選抜 2:22:21	久保 俊太 (札幌学大) (15) 24:12 (15) 24:12	藤井 太雅 (札幌学大) (15) 41:51 (16) 17:39	西沼 佑司 (札幌学大) (15) 1:07:08 (18) 25:17	田野 寛之 (北教大) (17) 1:27:39 (19) 20:31	鈴木 嘉人 (札幌学大) (18) 1:49:32 (20) 21:53	治田 全貴 (札幌学大) (19) 2:22:21 (19) 32:49
20	東北学連選抜 2:22:57	長柴 翔 (東北学大) (20) 25:22 (20) 25:22	大場 直樹 (東北大) (20) 43:17 (19) 17:55	熊谷 遊 (山形大) (20) 1:08:39 (19) 25:22	伊東 直之 (東北学大) (20) 1:29:28 (21) 20:49	樋渡 翔太 (富士大) (20) 1:51:02 (19) 21:34	島田 健作 (東北大) (20) 2:22:57 (16) 31:55
21	広島経済大学 2:25:52	森 啓太 (21) 25:29 (21) 25:29	赤井 晁彦 (21) 43:31 (20) 18:02	金地 直哉 (21) 1:09:16 (21) 25:45	上原 千弥 (21) 1:29:59 (20) 20:43	水島 琢弥 (21) 1:52:28 (21) 22:29	岡本 勝敏 (21) 2:25:52 (20) 33:24

秩父宮賜杯 第49回 実業団・学生対抗陸上競技大会

開 催 日：平成21年10月17日(土)

主 催：日本実業団陸上競技連合・(社)日本学生陸上競技連合

後 援：(財)日本陸上競技連盟・神奈川県・神奈川県教育委員会・平塚市・平塚市教育委員会

協 賛：ミズノ株式会社

運営協力：神奈川県陸上競技協会・東日本実業団陸上競技連盟・関東学生陸上競技連盟

場 所：平塚市総合公園平塚競技場

◎：大会新記録

<総合得点>

実業団 207点 (男子109点・女子98点)
学生 168点 (男子89点・女子79点)

<個人賞>

男子最優秀選手 村川 洋平 (実業団・ススキ)
女子最優秀選手 渡辺 真弓 (実業団・ナチュル)
男子敢闘選手 杉町 マハウ (実業団・日本ウells)
女子敢闘選手 田子 雅 (学生・中大)
男子最優秀新人選手 口野 武史 (実業団・富士通)
女子最優秀新人選手 目黒 真奈 (実業団・新潟7ビレックス)

男子

●100m(+1.1)

- ① 10.40 仁井 有介 (北海道マテア AC・実業団)
- ② 10.50 佐久間康太 (レカム・実業団)
- ③ 10.54 川面 聡大 (中大・学生)
- ④ 10.60 小谷 優介 (立命大・学生)
- ⑤ 10.66 内海 佑弥 (東洋大・学生)
- ⑥ 10.77 田中 星次 (トヨタ自動車・実業団)

●400m

- ① 46.72 小野 利明 (立命大・学生)
- ② 47.09 袴田 千尋 (東海大・学生)
- ③ 47.23 廣瀬 英行 (慶大・学生)
- ④ 47.82 山口 有希 (大阪ガス・実業団)
- ⑤ 48.11 宮沢 洋平 (富士通・実業団)
- ⑥ 53.48 堀龍 佐宏 (富士通・実業団)
- OP48.58 太田 和憲 (サニセイ・学生)

●800m

- ①◎ 1:47.61 口野 武史 (富士通・実業団)
- ②◎ 1:48.53 牧野 康博 (順大・学生)
- ③◎ 1:48.84 堤 大樹 (アコム・実業団)
- ④◎ 1:48.90 岡 昇平 (順大・学生)
- ⑤ 1:50.14 宮崎 輝 (自衛隊体育学校・実業団)
- ⑥ 1:55.08 佐藤 悠 (早大・学生)

●110mH(+0.5)

- ① 13.79 古川裕太郎 (小島プレス・実業団)
- ② 13.89 モービス・夢 (国武大・学生)
- ③ 13.90 吉永 一行 (日光明峰高教・実業団)
- ④ 13.94 首藤 貴之 (西原小職・実業団)
- ⑤ 14.05 西澤 真徳 (福岡大・学生)
- ⑥ 14.33 菊池 徹郎 (上越教育大・学生)

●400mH

- ①◎ 49.51 杉町マハウ (日本ウells・実業団)
- ②◎ 49.56 吉田 和晃 (順大・学生)
- ③ 50.34 今関 雄太 (順大・学生)
- ④ 50.87 矢野 秀樹 (新潟7ビレックス RC・実業団)
- ⑤ 51.40 記野 友晴 (福岡大・学生)
- ⑥ 52.07 武田 健太 (日本陸送・実業団)

●100m+200m+300m+400m

- ① 1:50.54 学生 (小谷・川面・廣瀬・小野)
- ② 1:51.13 実業団 (仁井・佐久間・山口・堀龍)

●走高跳

- ① 2.20 土屋 光 (モンロー・学生)
- ② 2.17 高張 広海 (東海大・学生)
- ③ 2.17 久保田 聡 (モンロー・学生)
- ④ 2.14 國本 拓志 (龍谷大・学生)
- ⑤ 2.11 衛藤 昂 (鈴鹿高専・学生)
- ⑥ 2.00 大山 健 (前橋西高教・実業団)
- OP2.08 尾又 平朗 (東海大・学生)
- OP2.08 佐藤 庸平 (東海大・学生)

●三段跳

- ① 15.84 (+1.0) 藤林 献明 (群馬総合カド・実業団)
- ② 15.56 (+0.9) 広幸 (大井町役場・実業団)
- ③ 15.49 (± 0) 丸 高弘 (順大・学生)
- ④ 15.35 (+0.6) 山崎 幸太 (中大・学生)
- ⑤ 15.35 (+1.0) 鈴木 義啓 (ススキ・実業団)
- ⑥ 15.14 (+1.3) 塩見 将輔 (東海大・学生)

●砲丸投

- ①◎ 17.98 村川 洋平 (ススキ・実業団)
- ② 16.30 大橋 忠司 (諏訪中教・実業団)
- ③ 15.71 鈴木 孝尚 (大体大職・実業団)
- ④ 15.46 豊里 健 (鹿屋体大・学生)
- ⑤ 15.44 田邊 秀将 (国士大・学生)
- ⑥ 15.40 吉岡 賢吉 (大体大・学生)

●ハンマー投

- ① 69.98 土井 宏昭 (土井せんべい・実業団)
- ② 67.07 野口 裕史 (群馬総合カド・実業団)
- ③ 64.64 田中 透 (鹿屋体大・学生)
- ④ 62.66 土井田匡徳 (倉敷南高教・実業団)
- ⑤ 59.55 野島 克幸 (国武大・学生)
- ⑥ 56.15 知念 雄 (順大・学生)

女子

●100m(+0.4)

- ①◎ 11.58 渡辺 真弓 (ナチュル・実業団)
- ② 11.98 須田 沙織 (M&K・実業団)
- ③ 12.00 石川 奈緒 (筑波大・学生)
- ④ 12.05 岡部 奈緒 (中大・学生)
- ⑤ 12.25 林 明日香 (七十七銀行・実業団)
- ⑥ 12.58 山田 舞 (中大・学生)

●400m

- ① 54.68 佐藤 真有 (ナチュル・実業団)
- ② 54.69 桑原 千紘 (早大・学生)
- ③ 55.14 堀江 真由 (M&K・実業団)
- ④ 56.25 木目田智美 (日女体大・学生)
- ⑤ 56.88 池田 有希 (青学大・学生)
- ⑥ 57.54 齋 ともみ (七十七銀行・実業団)

●800m

- ① 2:08.68 目黒真奈美 (新潟7ビレックス・実業団)
- ② 2:08.92 木村 朝美 (平成国大・学生)
- ③ 2:09.64 田阪 亜樹 (天満屋・実業団)
- ④ 2:12.80 野村友香里 (中大・学生)
- ⑤ 2:13.62 坂水 千恵 (ナチュル・実業団)
- ⑥ 2:16.27 吉澤 彩夏 (日体大・学生)

●100mH(+1.2)

- ① 13.57 石野 真美 (長谷川体育施設・実業団)
- ② 13.73 柴 梨沙 (SMS-AC・実業団)
- ③ 13.86 紫村 仁美 (早大・学生)
- ④ 13.86 上田 美鈴 (青学大・学生)
- ⑤ 13.98 中田 有紀 (日本保育サービス・実業団)
- ⑥ 14.16 木村 文子 (横国大・学生)

●400mH

- ① 58.46 田子 雅 (中大・学生)
- ② 58.94 津留 加奈 (早大・学生)
- ③ 59.56 吉田真希子 (ナチュル・実業団)
- ④ 59.63 宮原 綾 (筑波大・学生)
- ⑤ 1:00.49 水上 友紀 (七十七銀行・実業団)
- ⑥ 1:00.50 若林 愛 (住友電工・実業団)
- OP1:01.93 保坂真衣子 (七十七銀行・学生)

●100m+200m+300m+400m

- ① 2:07.83 実業団 (須田・渡辺・佐藤・堀江)
- ② 2:09.01 学生 (石川・岡部・田子・桑原)

●走幅跳

- ① 6.06 (+1.6) 中原ゆかり (富士通・実業団)
- ② 6.00 (+1.2) 高武 華子 (福岡大・学生)
- ③ 5.99 (+1.7) 角山 美穂 (岩手大・学生)
- ④ 5.85 (+0.9) 三澤 涼子 (ヤマト・実業団)
- ⑤ 5.81 (+0.3) 濱島 陽子 (パナソニック・実業団)
- ⑥ 5.62 (+0.1) 齋藤かおり (東北福祉大・学生)

●円盤投

- ① 50.21 敷本 愛 (新潟7ビレックス・実業団)
- ② 48.37 本田 綾花 (筑波大・学生)
- ③ 48.17 江島 成美 (中京大・学生)
- ④ 48.11 鈴木 鶴代 (龍水寺・実業団)
- ⑤ 46.93 横山 幸代 (シスメックス・実業団)
- ⑥ 44.39 北垣 真里 (筑波大・学生)

●やり投

- ① 55.98 海老原有希 (ススキ・実業団)
- ② 53.74 小林 梨沙 (大阪薫英女学教・実業団)
- ③ 50.75 中野 美沙 (浦里酒造・実業団)
- ④ 50.66 宮本理陽子 (筑波大・学生)
- ⑤ 49.30 助永 仁美 (大体大・学生)
- ⑥ 48.71 遠沢 和加 (弘前大・学生)

全日本大学女子駅伝に優勝して思うこと

佛教大学 監督 森川 賢一

10月25日、仙台で行われました全日本大学女子駅伝対校選手権大会において、優勝させて頂き誠にありがとうございました。これも、皆様の応援とご尽力のおかげと感謝しています。

そこで、僭越ではありますが、本学の女子陸上部が実践している活動をご紹介します。

本学では、10年前より女子の駅伝を強くしようと大学を挙げて強化に取り組んできました。

その強化の方針として、①女性としての機能を損なうことなく、競技能力を高めること。②競技だけでなく人間性を向上させること。を掲げています。

どうしても、10代後半から20代前半は女性ホルモンの分泌が旺盛となり、体重・体脂肪の増加、月経痛などが競技力の障壁となります。しかし、そこでハードトレーニングを課すことで月経を抑えたり、食生活・トレーニングにより体重の制限を厳しくすると、子宮や卵巣の委縮がみられ不妊症になり易くなります。また、骨密度も低下し、骨折しやすくなります。勿論、貧血にも見舞われます。女性としての機能を損なわないように、また貧血・疲労骨折の防止に努めながら競技をやっていくように指導しています。具体的には、食生活においてカロリー計算をせず、自分の感覚で食べるよう指導をしています。体重測定は個人にまかせています。体重は調子のバロメーターでもありますから多くの選手は自主的に測定していますが、あくまで目安であり、走る自分の感覚を大事にさせています。菓子類も制限はしていませんが、記録の良い選手ほど3度の食事をきっちりと食べ、間食はしていないようです。ストレスから菓子類を摂取する選手がいますが、罪悪感を持って食べると脂肪につながるようです。また、どんなに背が低くても40キロ以下にはならないように気をつけさせています。こうしていくと、選手自身自分の食べ方が分かってくるようです。選手たちは本当によく食べます。時には、合宿先でご飯のお代りがなくなってしまうことすらあります。

授業時間の関係上、練習量もあまり多くなく、早朝60分で11キロぐらい、午後40分から70分ぐらいの練習をしています。ペースもあまり速くなく、一年生の始めは遅いペースに不安を抱くようです。ただ、短い練習時間なので、今という時間に集中することを考えさせています。

「競技力だけでなく人間性の向上」という面で、大事にしていることは、周囲の皆さん、たとえば大学の近くの地域の人たち、練習コースの方たち、大学の友人、そして家族・チームメート・ライバルに対して尊敬と感謝の念を持つことの大切さを毎日訴えています。只、優勝するだけでなく、すべての人が祝福してくださるチームになり、人間になること、そして、日々謙虚に生きていくことを目指して努力しています。

目的とは、目指す理念であり、目標はその過程であると思います。今回は、この駅伝で優勝するのが目標でした。そのベースには希望・勇気・元気を前面に出した走り感謝の念を持ちこの世の中を明るくすることという目的があります。

このような精神的な指標を持つことは、これからの陸上競技を続けていく上でも、また、自分の人生を歩んでいく上においても大切なことだと思っています。駅伝の優勝を一つの標石として、目的の達成のため新たな目標に向かって精進していきたいと思っています。

このような紙面で稚拙な雑感を書かせていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

第27回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

主 催：社団法人日本学生陸上競技連合/読売新聞社

共 催：仙台市

運営協力：東北学生陸上競技連盟/宮城陸上競技協会/仙台市スポーツ振興事業団

後 援：文部科学省/宮城県/報知新聞社/日本テレビ放送網/宮城テレビ放送

特別協賛：スターツグループ

協 賛：アサヒ緑健/トヨタ自動車/セイコースポーツライフ

協 力：興和

支 援：宮城県警察本部/仙台市交通指導隊/仙台市スポーツ連盟/仙台市体育指導委員協議会/仙台市学区民体育振興会連合会

期 日：平成21年(2009年) 10月25日(日)

コ ー ス：スタート・仙台市陸上競技場⇒フィニッシュ・仙台市役所前市民広場 6区間 38.6km

【優勝監督賞】

氏名	大学名
森川 賢一	佛教大学

【気象条件】

時刻	天候	気温	湿度	風向	風速
12:10	晴	18.0℃	57%	北東	0.8m/s
14:14	晴	16.5℃	55%	北北東	1.2m/s

【総合成績表】

◎：大会新 ★：区間新 上段：選手氏名 中段：通過記録(順位) 下段：区間記録(順位)

順位	チーム名 記録	第1区 (6.0km) 仙台市陸上競技場～ 仙台市陸上競技場前	第2区 (6.6km) 仙台市陸上競技場前～ 仙台市太白区役所前	第3区 (9.1km) 仙台市太白区役所前～ 西公園こけし塔前	第4区 (4.9km) 西公園こけし塔前～ ネットヨタ仙台黒松店前	第5区 (4.0km) ネットヨタ仙台黒松店前～ 宮城学院正門前	第6区 (8.0km) 宮城学院正門前～ 仙台市役所前市民広場
1	佛教大学 ◎ 2:03:32	石橋 麻衣 (1) 19:21 (1) 19:21	森 唯我 (1) 40:12 ★ (1) 20:51	西原 加純 (1) 1:09:52 (2) 29:40	竹地 志帆 (1) 1:25:15 (1) 15:23	森 知奈美 (1) 1:37:57 ★ (1) 12:42	吉本ひかり (1) 2:03:32 ★ (1) 25:35
2	立命館大学 ◎ 2:05:13	田中 華絵 (2) 19:23 (2) 19:23	沼田 未知 (2) 40:43 (2) 21:20	小島 一恵 (2) 1:10:02 ★ (1) 29:19	本多奈都子 (2) 1:25:58 (3) 15:56	岩川真知子 (2) 1:38:53 ★ (2) 12:55	竹中 理沙 (2) 2:05:13 (2) 26:20
3	名城大学 2:08:17	津崎紀久代 (7) 19:51 (7) 19:51	西川 生夏 (4) 41:40 (4) 21:49	野村 沙世 (3) 1:12:14 (5) 30:34	下藤ひとみ (3) 1:27:55 (2) 15:41	須谷 綾香 (3) 1:41:09 (4) 13:14	井原 未帆 (3) 2:08:17 (3) 27:08
4	城西国際大学 2:09:47	細谷 英里 (6) 19:50 (6) 19:50	星野 純子 (8) 42:07 (12) 22:17	阿部有香里 (5) 1:12:37 (4) 30:30	大橋 春香 (4) 1:28:51 (7) 16:14	遠藤 陽奈 (4) 1:42:17 (7) 13:26	西田かすみ (4) 2:09:47 (5) 27:30
5	城西大学 2:10:02	井上 藍 (5) 19:48 (5) 19:48	斉藤 千聖 (5) 41:47 (8) 21:59	酒井 優衣 (7) 1:12:56 (12) 31:09	丹野久美子 (5) 1:29:04 (6) 16:08	中山 裕理 (7) 1:42:43 (8) 13:39	山田 美紀 (5) 2:10:02 (4) 27:19
6	京都産業大学 2:10:15	伊藤 恵 (4) 19:43 (4) 19:43	賀元あすか (12) 42:46 (18) 23:03	眞尾美乃里 (10) 1:13:28 (7) 30:42	福森 千晶 (7) 1:29:26 (4) 15:58	勝谷 夏美 (6) 1:42:38 (3) 13:12	山川 美里 (6) 2:10:15 (7) 27:37
7	東京農業大学 2:10:40	生源寺愛美 (9) 19:58 (9) 19:58	田村 麻衣 (9) 42:14 (10) 22:16	平林 愛実 (6) 1:12:55 (6) 30:41	尾形ひとみ (6) 1:29:17 (11) 16:22	山本 陽菜 (5) 1:42:31 (4) 13:14	森田 知帆 (7) 2:10:40 (13) 28:09
8	白鷗大学 2:11:03	清水 美穂 (8) 19:57 (8) 19:57	小林 美友 (10) 42:17 (13) 22:20	大江茉莉香 (8) 1:13:10 (9) 30:53	川又 千聖 (8) 1:29:29 (9) 16:19	高橋 侑里 (9) 1:43:20 (12) 13:51	高田 晴奈 (8) 2:11:03 (9) 27:43

順位	チーム名 記録	第1区 (6.0km)	第2区 (6.6km)	第3区 (9.1km)	第4区 (4.9km)	第5区 (4.0km)	第6区 (8.0km)
		仙台市陸上競技場～ 仙台市陸上競技場前	仙台市陸上競技場前～ 仙台市太白区役所前	仙台市太白区役所前～ 西公園こけし塔前	西公園こけし塔前～ ネットヨタ仙台黒松店前	ネットヨタ仙台黒松店前～ 宮城学院正門前	宮城学院正門前～ 仙台市役所前市民広場
9	玉川大学 2:11:16	廣川 征耶 (10) 20:05 (10) 20:05	田中 智美 (7) 42:02 (6) 21:57	廣芳優香里 (11) 1:13:41 (14) 31:39	古宮久美子 (11) 1:29:41 (5) 16:00	武田 尚子 (10) 1:43:24 (10) 13:43	村山 愛美 (9) 2:11:16 (10) 27:52
10	順天堂大学 2:11:17	後潟華奈子 (18) 20:36 (18) 20:36	船木 美果 (13) 42:47 (9) 22:11	北村 沙織 (12) 1:13:50 (10) 31:03	矢島 早紀 (12) 1:30:22 (13) 16:32	石川賀世子 (11) 1:43:46 (6) 13:24	田中 幸 (10) 2:11:17 (6) 27:31
11	松山大学 2:11:23	田村 紀薫 (3) 19:30 (3) 19:30	矢野麻利亜 (3) 41:15 (3) 21:45	國仙 幸子 (9) 1:13:19 (20) 32:04	曾我部真実 (10) 1:29:36 (8) 16:17	大塚 寛子 (8) 1:43:19 (10) 13:43	荒井 優 (11) 2:11:23 (11) 28:04
12	日本大学 2:11:32	白滝 成美 (11) 20:09 (11) 20:09	キンゴリアン (6) 42:00 (5) 21:51	後藤奈津子 (4) 1:12:29 (3) 30:29	森野 麻美 (9) 1:29:30 (17) 17:01	滝口 絵理 (12) 1:43:55 (21) 14:25	マ付ジェミ (12) 2:11:32 (7) 27:37
13	大阪体育大学 2:12:44	徳田 夕佳 (16) 20:24 (16) 20:24	徳重 佑梨 (11) 42:40 (10) 22:16	大内 唯衣 (14) 1:14:06 (13) 31:26	中本 晴佳 (13) 1:30:27 (10) 16:21	岡 小百合 (13) 1:44:07 (9) 13:40	上出 彩可 (13) 2:12:44 (15) 28:37
14	鹿屋体育大学 2:13:15	上田敏斗美 (24) 21:18 (24) 21:18	今屋 美佐 (17) 43:15 (6) 21:57	松浦 七実 (15) 1:14:07 (8) 30:52	森崎 千洋 (14) 1:30:31 (12) 16:24	木戸 美里 (14) 1:45:03 (23) 14:32	西園祐貴子 (14) 2:13:15 (14) 28:12
15	中央大学 2:13:40	齋藤 佑貴 (14) 20:16 (14) 20:16	野村友香里 (15) 43:00 (16) 22:44	新井 由貴 (13) 1:14:05 (11) 31:05	古本 沙倉 (15) 1:31:16 (18) 17:11	佐藤 亜美 (15) 1:45:32 (17) 14:16	武藤 佐英 (15) 2:13:40 (12) 28:08
16	立命A P U 2:14:39	ミヅノ ミリアム (12) 20:14 (12) 20:14	平田 絵美 (16) 43:08 (17) 22:54	ワンヅル キャサリン (17) 1:14:51 (16) 31:43	大木 美里 (16) 1:31:41 (16) 16:50	土取千亜紀 (16) 1:45:51 (14) 14:10	大道 優香 (16) 2:14:39 (17) 28:48
17	関西大学 2:15:53	高谷 静香 (15) 20:17 (15) 20:17	亀岡 知美 (14) 42:54 (15) 22:37	宮下 亜弓 (16) 1:14:51 (18) 31:57	板倉 佑起 (17) 1:32:05 (21) 17:14	坂中杏也子 (17) 1:46:02 (13) 13:57	岩永ゆかり (17) 2:15:53 (24) 29:51
18	奈良産業大学 2:16:41	伊藤 ふき (13) 20:16 (13) 20:16	片山 千裕 (20) 43:56 (21) 23:40	柴田 愛美 (18) 1:15:58 (19) 32:02	浦井 彩加 (20) 1:33:20 (22) 17:22	三日月麻衣 (20) 1:47:35 (16) 14:15	村田 宏美 (18) 2:16:41 (20) 29:06
19	東北福祉大学 2:16:57	成田 香菜 (21) 20:58 (21) 20:58	石山真紀子 (18) 43:32 (14) 22:34	糞輪 美穂 (19) 1:16:02 (21) 32:30	信夫 香織 (19) 1:33:13 (18) 17:11	植村 紗希 (19) 1:47:31 (18) 14:18	松井 望 (19) 2:16:57 (22) 29:26
20	福島大学 2:17:15	瓜生 朱音 (17) 20:32 (17) 20:32	長沢 清佳 (21) 44:27 (22) 23:55	古瀬 麻美 (20) 1:16:06 (14) 31:39	亀田 咲絵 (18) 1:32:51 (15) 16:45	中山 あや (18) 1:47:21 (22) 14:30	平元 舞 (20) 2:17:15 (25) 29:54
21	大阪学院大学 2:18:04	田中 悠里 (20) 20:48 (20) 20:48	浅野 里奈 (19) 43:55 (19) 23:07	大西 真以 (22) 1:17:22 (24) 33:27	万代 美幸 (21) 1:34:06 (14) 16:44	花城美香子 (21) 1:48:26 (19) 14:20	前堂紗弥香 (21) 2:18:04 (23) 29:38
22	中京大学 2:18:26	伊藤 麻未 (19) 20:46 (19) 20:46	伊藤 麻央 (22) 44:48 (23) 24:02	白川こずえ (23) 1:18:01 (23) 33:13	吉川 侑美 (22) 1:35:32 (23) 17:31	吉岡 里紗 (22) 1:49:44 (15) 14:12	山下亜津沙 (22) 2:18:26 (16) 28:42
23	東亜大学 2:19:27	宮武 礼子 (23) 21:06 (23) 21:06	田中 智菜 (24) 45:29 (25) 24:23	大坪 恭子 (24) 1:18:30 (22) 33:01	山下恵梨香 (24) 1:36:04 (24) 17:34	金子 美保 (23) 1:50:27 (20) 14:23	鈴山 恵理 (23) 2:19:27 (19) 29:00
24	新潟大学 2:19:56	渡辺 杏滯 (25) 21:24 (25) 21:24	秋山 滯 (23) 44:53 (20) 23:29	渡辺 智子 (21) 1:16:42 (17) 31:49	中野 舞 (23) 1:35:39 (25) 18:57	長沼友里子 (24) 1:51:08 (25) 15:29	今野まどか (24) 2:19:56 (17) 28:48
25	北海道教育大学 2:27:39	澤向美沙希 (22) 20:59 (22) 20:59	白石はるか (25) 46:24 (26) 25:25	木村早桜里 (25) 1:21:21 (26) 34:57	柴山 香織 (25) 1:40:55 (26) 19:34	横倉 李奈 (25) 1:57:35 (26) 16:40	野村 美咲 (25) 2:27:39 (26) 30:04
OP	東北学連選抜 2:21:08	矢口 奏未 (東北学大) (-) 21:43 (26) 21:43	志賀 愛香 (仙台大) (-) 45:46 (24) 24:03	永井 瑞希 (東北大) (-) 1:20:04 (25) 34:18	鈴木真奈美 (山形大) (-) 1:37:16 (20) 17:12	東川 陽子 (仙台大) (-) 1:51:55 (24) 14:39	金間なつみ (宮城学女大) (-) 2:21:08 (21) 29:13

秩父宮賜杯 第41回全日本大学駅伝対校選手権大会

主 催：社団法人日本学生陸上競技連合/朝日新聞社/テレビ朝日/メ〜テレ

運営協力：東海学生陸上競技連盟/愛知陸上競技協会/三重陸上競技協会

後 援：文部科学省/愛知県/三重県/名古屋市/伊勢市/日刊スポーツ新聞社

支 援：愛知県警察本部/三重県警察本部

特別協賛：J Aバンク

協 賛：マツダ/三菱UFJリース

企画協力：アサツーディ・ケイ

協 力：シチズン時計株式会社

期 日：平成21年(2009年) 11月1日(日)

コ ー ス：スタート・熱海神宮西門前 ⇒ フィニッシュ・伊勢神宮内宮宇治橋前 8区間 106.8km

【優勝監督賞】

氏名	大学名
小山 裕三	日本大学

【気象条件】

時刻	地名	天候	気温	湿度	風向	風速
8:00	名古屋	くもり	18.0℃	67%	東南東	1.0m/s
13:00	伊勢	くもり	22.7℃	88%	南南西	3.0m/s

【総合成績表】

上段：選手氏名 中段：通過記録（順位） 下段：区間記録（順位）

順位	チーム名 記録	第1区 (14.6km) 熱田神宮西門前～ 弥富市役所西詰	第2区 (13.2km) 弥富市役所西詰～ 川越町高松	第3区 (9.5km) 川越町高松～ 四日市市六呂見町	第4区 (14.0km) 四日市市六呂見町～ 鈴鹿市寺家	第5区 (11.6km) 鈴鹿市寺家～ 津市上浜町	第6区 (12.3km) 津市上浜町～ 松阪市曾原町	第7区 (11.9km) 松阪市曾原町～ 松阪市豊原町	第8区 (19.7km) 松阪市豊原町～ 伊勢神宮内宮宇治橋前
1	日本大学 52:10.4	井上 陽介 (12) 44:47 (12) 44:47	佐藤 佑輔 (11) 1:24:56 (11) 40:09	堂本 尚寛 (9) 1:53:06 (2) 28:10	ガボッ・バグヤシ (4) 2:34:18 (1) 41:12	谷口 恭悠 (2) 3:09:29 (3) 35:11	丸林 祐樹 (3) 3:47:24 (7) 37:55	横松 優 (3) 4:24:10 (7) 36:46	ギョウ・ダニエル (1) 5:21:04 (1) 56:54
2	東洋大学 52:44.0	柏原 竜二 (2) 43:08 (2) 43:08	宇野 博之 (3) 1:22:46 (8) 39:38	川上 遼平 (2) 1:51:12 (6) 28:26	高見 諒 (2) 2:33:51 (4) 42:39	千葉 優 (4) 3:10:21 (13) 36:30	佐藤 寛才 (2) 3:47:15 (3) 36:54	田中 貴章 (2) 4:23:21 (1) 36:06	大津 翔吾 (2) 5:24:40 (7) 1:01:19
3	明治大学 52:45.4	北條 尚 (10) 44:38 (10) 44:38	鎧坂 哲哉 (6) 1:23:29 (3) 38:51	近藤 俊一 (6) 1:52:14 (9) 28:45	石川 卓哉 (3) 2:34:04 (2) 41:50	安田 昌倫 (1) 3:08:55 (1) 4:51	渡辺 真矢 (1) 3:46:11 (4) 37:16	遠藤 寿寛 (1) 4:22:17 (1) 6:06	細川 勇介 (3) 5:24:54 (13) 1:02:37
4	早稲田大学 52:54.6	矢澤 曜 (3) 43:55 (3) 43:55	八木 勇樹 (4) 1:23:14 (5) 39:19	佐々木寛文 (4) 1:51:24 (2) 28:10	平賀 翔太 (1) 2:33:30 (3) 42:06	三田 裕介 (3) 3:09:51 (12) 36:21	神澤 陽一 (4) 3:47:29 (5) 37:38	前田 悠貴 (4) 4:24:42 (13) 37:13	尾崎 貴宏 (4) 5:25:46 (1) 1:01:04
5	山梨学院大学 52:56.05	後藤 敬 (15) 44:57 (15) 44:57	高瀬 無量 (8) 1:24:00 (4) 39:03	松本 葵 (10) 1:53:11 (10) 29:11	大谷 康太 (8) 2:36:00 (6) 42:49	小山 大介 (8) 3:11:36 (7) 35:36	松枝 翔 (6) 3:48:29 (2) 36:53	岩田 真澄 (5) 4:25:10 (6) 36:41	中川 剛 (5) 5:26:05 (4) 1:00:55
6	中央大学 52:56.26	棟方 雄己 (8) 44:24 (8) 44:24	齋藤 勇人 (12) 1:25:05 (14) 40:41	水越 智哉 (13) 1:53:42 (8) 28:37	山本 庸平 (10) 2:36:24 (5) 42:42	辻 幸佑 (9) 3:11:45 (5) 35:21	野脇 勇志 (9) 3:49:40 (7) 37:55	佐々木健太 (8) 4:26:00 (3) 36:20	大石 港与 (6) 5:26:26 (2) 1:00:26
7	駒澤大学 52:56.38	上野 渉 (9) 44:28 (9) 44:28	宇賀地 強 (1) 1:22:18 (1) 37:50	千葉 健太 (1) 1:50:49 (7) 28:31	星 創太 (13) 2:37:39 (23) 46:50	境上 宏光 (11) 3:12:53 (4) 35:14	高林 祐介 (7) 3:49:02 (1) 36:09	後藤田健介 (7) 4:25:30 (4) 36:28	深津 卓也 (7) 5:26:38 (6) 1:01:08
8	中央学院大学 52:56.53	塚本 千仁 (5) 44:06 (5) 44:06	大野 紘崇 (7) 1:23:42 (7) 39:36	渡邊 嵩仁 (3) 1:51:20 (1) 27:38	三浦 隆稔 (5) 2:34:43 (10) 43:23	田口 優 (7) 3:11:15 (14) 36:32	野中 洋輝 (8) 3:49:27 (11) 38:12	渡部 恭平 (9) 4:26:06 (5) 36:39	小林 光二 (8) 5:26:53 (3) 1:00:47

順位	チーム名 記録	第1区(14.6km) 熱田神宮西門前～ 弥富市筏川橋西詰	第2区(13.2km) 弥富市筏川橋西詰～ 川越町高松	第3区(9.5km) 川越町高松～ 四日市市六呂見町	第4区(14.0km) 四日市市六呂見町～ 鈴鹿市寺家	第5区(11.6km) 鈴鹿市寺家～ 津市上浜町	第6区(12.3km) 津市上浜町～ 松阪市曾原町	第7区(11.9km) 松阪市曾原町～ 松阪市豊原町	第8区(19.7km) 松阪市豊原町～ 伊勢神宮内宮宇治橋前
9	東海大学 5:27:18	早川 翼 (4) 43:56 (4) 43:56	村澤 明伸 (2) 1:22:21 (2) 38:25	藤本 剛士 (5) 1:52:08 (18) 29:47	刀祢健太郎 (6) 2:35:20 (7) 43:12	田中 飛鳥 (5) 3:10:2 (2) 35:08	平山 竜成 (5) 3:48:24 (9) 37:56	永田 慎介 (6) 4:25:26 (8) 37:02	金子 太郎 (9) 5:27:18 (8) 1:01:52
10	第一工業大学 5:30:35	キラグ・ジュグナ (1) 42:47 (1) 42:47	山元 綾 (5) 1:23:16 (13) 40:29	松木 祐二 (7) 1:52:27 (10) 29:11	谷口 亮 (7) 2:35:42 (8) 43:15	厚地 翔太 (6) 3:11:13 (6) 35:31	丸野 大樹 (10) 3:50:43 (18) 39:30	山田 勇基 (10) 4:28:22 (15) 37:39	ワンジョヒ・カルイル (10) 5:30:35 (10) 1:02:13
11	立命館大学 5:30:53	藤原 庸平 (11) 44:43 (11) 44:43	田中 裕之 (13) 1:25:32 (15) 40:49	今崎 俊樹 (12) 1:53:42 (2) 28:10	寺本 英司 (12) 2:37:17 (13) 43:35	詫間 礼斗 (13) 3:13:26 (11) 36:09	寺崎 宏紀 (11) 3:51:10 (6) 37:44	尾崎 文彦 (12) 4:29:00 (16) 37:50	西野 智也 (11) 5:30:53 (9) 1:01:53
12	東京農薬大学 5:31:27	松原 健太 (14) 44:53 (14) 44:53	田村 英晃 (10) 1:24:24 (6) 39:31	木下 潤哉 (8) 1:52:42 (5) 28:18	瀬山 直人 (9) 2:36:00 (9) 43:18	藤代 晃司 (10) 3:12:39 (16) 36:39	高山 昇太 (12) 3:51:40 (13) 39:01	清水 和朗 (11) 4:28:58 (14) 37:18	横山 裕己 (12) 5:31:27 (12) 1:02:29
13	京都産業大学 5:33:08	三岡 大樹 (6) 44:10 (6) 44:10	林 和貴 (9) 1:24:13 (10) 40:03	野田 一貴 (11) 1:53:29 (13) 29:16	住本 雅仁 (11) 2:36:59 (11) 43:30	関谷 宜輝 (12) 3:12:58 (8) 35:59	宇野 翔太 (13) 3:52:05 (14) 39:07	黒川 優気 (13) 4:29:11 (10) 37:06	奥野 雅史 (13) 5:33:08 (16) 1:03:57
14	専修大学 5:34:18	酒井 潤一 (17) 46:18 (18) 46:18	五ヶ谷宏司 (17) 1:26:42 (12) 40:24	井上 直紀 (16) 1:55:57 (12) 29:15	安島 慎吾 (14) 2:39:48 (14) 43:51	星野 光汰 (14) 3:15:49 (9) 36:01	松尾 直樹 (14) 3:54:56 (14) 39:07	石垣 弘志 (14) 4:32:01 (9) 37:05	五十嵐祐太 (14) 5:34:18 (11) 1:02:17
15	青山学院大学 5:36:22	荒井 輔 (16) 46:10 (17) 46:10	米澤 類 (15) 1:26:05 (9) 39:55	市岡 敬介 (14) 1:55:28 (14) 29:23	小嶺 篤志 (15) 2:39:49 (15) 44:21	小川 恭正 (15) 3:16:58 (18) 37:09	川村 駿吾 (15) 3:55:24 (12) 38:26	横山 拓也 (15) 4:32:30 (10) 37:06	小林 駿祐 (15) 5:36:22 (15) 1:03:52
16	日本文理大学 5:39:34	吉田 亮太 (7) 44:15 (7) 44:15	内田 恒三 (14) 1:25:36 (19) 41:21	後藤 将友 (15) 1:55:55 (22) 30:19	伊波 航 (16) 2:40:26 (16) 44:31	川口 新也 (16) 3:17:51 (19) 37:25	原 知明 (16) 3:57:24 (20) 39:33	神志那優輝 (17) 4:36:32 (23) 39:08	高木 和夫 (16) 5:39:34 (14) 1:03:02
17	大阪経済大学 5:40:53	上田 聡志 (20) 46:38 (21) 46:38	木村 哲也 (19) 1:28:25 (23) 41:47	濱田 正敏 (19) 1:58:07 (17) 29:42	宮永 大亮 (17) 2:41:41 (12) 43:34	八木 敏志 (17) 3:18:38 (17) 36:57	田中 秀門 (17) 3:57:46 (16) 39:08	國科 祥平 (16) 4:35:48 (17) 38:02	樋口 幸平 (17) 5:40:53 (18) 1:05:05
18	名古屋大学 5:43:18	藤永 紘基 (19) 46:21 (20) 46:21	山本 崇博 (18) 1:27:28 (17) 41:07	田中 佑治 (18) 1:57:32 (20) 30:04	村西 研郎 (18) 2:42:04 (17) 44:32	濱田 洋平 (18) 3:18:41 (15) 36:37	平岡 悠 (18) 3:58:43 (23) 40:02	梶田 拓弥 (18) 4:37:27 (18) 38:44	羽生田智彦 (18) 5:43:18 (23) 1:05:51
19	中京大学 5:46:21	山下 洸 (23) 47:21 (24) 47:21	佐藤 大貴 (20) 1:28:27 (16) 41:06	高橋 弘幸 (20) 1:58:27 (19) 30:00	神谷 泰光 (19) 2:44:24 (20) 45:57	橋本 一樹 (19) 3:22:31 (22) 38:07	近藤 雄太 (19) 4:01:53 (17) 39:22	櫛木 一成 (19) 4:40:59 (22) 39:06	高木 竜一 (19) 5:46:21 (20) 1:05:22
20	札幌学院大学 5:48:18	藤井 太雅 (25) 48:46 (26) 48:46	久保 俊太 (24) 1:30:03 (18) 41:17	藤山 智史 (23) 1:59:40 (16) 29:37	西沼 佑司 (23) 2:45:55 (21) 46:15	鈴木 嘉人 (23) 3:24:25 (23) 38:30	治田 全貴 (22) 4:04:08 (21) 39:43	田端 智宏 (21) 4:43:13 (21) 39:05	出口 善久 (20) 5:48:18 (18) 1:05:05
21	福岡大学 5:49:24	中西 拓郎 (13) 44:50 (13) 44:50	逸木 脩平 (16) 1:26:20 (21) 41:30	堤 渉 (17) 1:57:07 (23) 30:47	有働 敬太 (20) 2:44:54 (25) 47:47	加治屋 譲 (22) 3:23:39 (25) 38:45	前川 貴映 (21) 4:03:34 (22) 39:55	上浦 彰太 (22) 4:43:58 (26) 40:24	後口 成就 (21) 5:49:24 (21) 1:05:26
22	東北福祉大学 5:50:09	渡部 佳也 (24) 47:32 (25) 47:32	冠木 雅守 (23) 1:29:31 (24) 41:59	渡邊 直也 (22) 1:59:36 (21) 30:05	鈴木 弘成 (21) 2:45:15 (19) 45:39	佐藤 貴司 (20) 3:22:41 (20) 37:26	菊地 功喜 (20) 4:02:11 (18) 39:30	住谷 勇樹 (20) 4:41:10 (20) 38:59	嶋貫 大地 (22) 5:50:09 (26) 1:08:59
23	東北大学 5:51:26	齋藤 純 (21) 47:05 (22) 47:05	大場 直樹 (21) 1:28:36 (22) 41:31	柴田 拓哉 (21) 1:59:32 (25) 30:56	小林 和也 (22) 2:45:50 (22) 46:18	林 亮輔 (21) 3:23:32 (21) 37:42	平 聖也 (23) 4:04:45 (24) 41:13	尾形 翔平 (23) 4:44:29 (25) 39:44	島田 健作 (23) 5:51:26 (24) 1:06:57
24	信州大学 5:53:01	佐藤 隆史 (18) 46:20 (19) 46:20	村澤 陽介 (22) 1:29:05 (22) 42:45	岩田 紘史 (24) 1:59:59 (24) 30:54	加藤 真彰 (24) 2:47:22 (24) 47:23	宮下 陽一 (24) 3:25:59 (24) 38:37	平林 竜一 (24) 4:07:48 (26) 41:49	山本 敦司 (24) 4:47:22 (24) 39:34	西沢 倫彦 (24) 5:53:01 (22) 1:05:39
25	広島大学 5:56:33	竹下 英伸 (22) 47:08 (23) 47:08	相葉 直紀 (25) 1:30:09 (26) 43:01	衣松 亮亮 (25) 2:01:42 (26) 31:33	二宮 政人 (25) 2:50:25 (26) 48:43	杉野本勇気 (25) 3:29:18 (26) 38:53	真野 裕史 (25) 4:10:38 (25) 41:20	岩藤 博紀 (25) 4:49:26 (19) 38:48	平岡幸一郎 (25) 5:56:33 (25) 1:07:07
OPN	東海学連選抜 5:37:42	中田 剛司 (三重中京大) (-) 46:00 (16) 46:00	伊藤 文浩 (愛教大) (-) 1:27:23 (20) 41:23	林 育生 (豊橋技科大) (-) 1:56:49 (15) 29:26	鈴木 慎 (静岡大) (-) 2:42:20 (18) 45:31	田中 智博 (愛工大) (-) 3:18:21 (9) 36:01	中山 祐平 (愛工大) (-) 3:56:30 (10) 38:09	長坂 公靖 (愛工大) (-) 4:33:39 (12) 37:09	池田麻保呂 (三重中京大) (-) 5:37:42 (17) 1:04:03

青木半治杯 2009国際千葉駅伝

主 催：財団法人日本陸上競技連盟/千葉県/千葉市/千葉県教育委員会/千葉市教育委員会

企画運営：国際千葉駅伝組織委員会

主 管：千葉陸上競技協会

後 援：フジテレビジョン/産経新聞社/ニッポン放送/習志野市/船橋市/財団法人千葉県体育協会

特別協賛：株式会社新昭和

特別協力：サンケイスポーツ/夕刊フジ

協 力：千葉県経済同友会/千葉県中小企業団体中央会/社団法人千葉県商工会議所連合会/千葉県商工会連合会社団法人千葉県経営者協会/社団法人千葉県経済協議会/株式会社千葉日報社

日 時：平成21年(2009年) 11月23日

コ ー ス：スタート・フィニッシュ＝千葉県総合スポーツセンター陸上競技場 6区間 42.195km

【総合成績表】

☆：区間タイ 上段：選手氏名 中段：通過記録(順位) 下段：区間記録(順位)

順位	チーム名 記録	第1区 (5.0km)	第2区 (5.0km)	第3区 (10km)	第4区 (5km)	第5区 (10km)	第6区 (7.195km)
1	日本 JPN 2:05:58	上野裕一郎 (2) 13:32 (2) 13:32	小林祐梨子 (1) 28:41 (1) 15:09	竹澤 健介 (1) 57:48 (1) 29:07	赤羽有紀子 (1) 1:13:22 ☆ (1) 15:34	佐藤 敦之 (1) 1:42:19 (1) 28:57	中村友梨香 (1) 2:05:58 (2) 23:39
2	日本学生選抜 JUT 2:07:47	柏原 竜二 (東 洋 大) (5) 13:46 (5) 13:46	小島 一恵 (立 命 大) (3) 29:34 (3) 15:48	矢澤 曜 (早 大) (2) 58:58 (3) 29:24	森 唯我 (佛 大) (2) 1:15:11 (3) 16:13	石川 卓哉 (明 大) (3) 1:44:35 (4) 29:24	吉本ひかり (佛 大) (2) 2:07:47 (1) 23:12
3	ケニア KEN 2:08:34	ニコラス マンザ・カマクヤ (3) 13:33 (3) 13:33	ワダ チェベケイ・ドモゴル (6) 30:10 (9) 16:37	ホ アジュ オンカガ・マヤカ (6) 59:34 (3) 29:24	イネス チェブケス・チェンゲ (3) 1:15:20 (2) 15:46	アベル・キルイ (2) 1:44:30 (2) 29:10	キャサリン・ステレバ (3) 2:08:34 (4) 24:04
4	千葉選抜 CHIBA 2:09:26	安西 秀幸 (9) 13:55 (9) 13:55	那須川瑞穂 (5) 29:49 (4) 15:54	山口 祥太 (5) 59:31 (5) 29:42	才上 裕紀奈 (5) 1:15:58 (5) 16:27	阿久津尚二 (5) 1:45:45 (6) 29:47	新谷 仁美 (4) 2:09:26 (3) 23:41
5	アメリカ USA 2:09:42	ジョーダン・ホーン (8) 13:53 (8) 13:53	メガン・アームストロング (7) 30:11 (7) 16:18	アイアン・バレル (4) 59:25 (2) 29:14	リンゼイ・アレソ (4) 1:15:53 (6) 16:28	アントニー・カールソン (4) 1:45:13 (3) 29:20	ジェニファー・ドノバン (5) 2:09:42 (5) 24:29
6	ロシア RUS 2:11:19	ケリコリー・アントレフ (7) 13:50 (7) 13:50	ナタリア・メドベデワ (8) 30:27 (9) 16:37	エフゲニー・ルバコフ (8) 1:00:14 (6) 29:47	エミグ・キエワ (7) 1:16:35 (4) 16:21	アナトリー・ルバコフ (6) 1:46:17 (5) 29:42	マリア・コノワワ (6) 2:11:19 (9) 25:02
7	オーストラリア AUS 2:11:35	クレイグ・モットラム (1) 13:23 (1) 13:23	ニック・チャップマン (2) 28:50 (2) 15:27	ティモシー・ロー (3) 59:05 (9) 30:15	クレア・ジェラティ (6) 1:16:05 (10) 17:00	ケイン・ウイリー (7) 1:46:24 (9) 30:19	リサ・フロント (7) 2:11:35 (11) 25:11
8	カナダ CAN 2:12:24	リッド・ケルサート (4) 13:38 (4) 13:38	メガン・マカルフ (4) 29:47 (6) 16:09	リチャード・モズリー (7) 59:46 (7) 29:59	ジャンデル・ウイトニー (8) 1:16:36 (8) 16:50	デイル・ワイクス (8) 1:47:02 (11) 30:26	マリリン・アムセノ (8) 2:12:24 (14) 25:22
9	イタリア ITA 2:13:13	ユリ・フロリア (11) 14:06 (11) 14:06	エマ・クアグリア (9) 30:34 (8) 16:28	コシモ・カリアンドロ (9) 1:00:36 (8) 30:02	ライラ・ソウフィアネ (9) 1:17:40 (11) 17:04	ステファノ・バルデニ (9) 1:48:08 (12) 30:28	ビンチェンツァ・シカリ (9) 2:13:13 (10) 25:05
10	ルーマニア ROU 2:14:28	イオスト フロリン・エチ (15) 14:52 (15) 14:52	コンスタンティン・ディタ (11) 30:59 (5) 16:07	クリスティネル・イリミア (13) 1:02:24 (13) 31:25	アナ・アントレ・ミルチア (14) 1:20:05 (15) 17:41	マリウス・イオネスク (11) 1:49:56 (7) 29:51	アナ・アントレ・イストドラ (10) 2:14:28 (7) 24:32
11	中国 CHN 2:14:47	馬 吉福 (13) 14:47 (13) 14:47	楊 静 (14) 31:39 (12) 16:52	侯 艷民 (11) 1:02:15 (12) 30:36	邵 莉萍 (10) 1:19:12 (9) 16:57	盧 韓雄 (12) 1:50:18 (13) 31:06	張 新 (11) 2:14:47 (5) 24:29

順位	チーム名 記録	第1区（5.0km）	第2区（5.0km）	第3区（10km）	第4区（5km）	第5区（10km）	第6区（7.195km）
12	ベラルーシ BLR 2:15:11	イ・ゴリ・ザボロタ (14) 14:51 (14) 14:51	イリーナ・バダベト (15) 31:56 (13) 17:05	スツイアパン・ラファツォウ (12) 1:02:15 (10) 30:19	ウオルハ・レツカヤ (13) 1:19:36 (12) 17:21	イハル・ツェツェルコウ (10) 1:49:54 (8) 30:18	ウオルハ・ミナ (12) 2:15:11 (13) 25:17
13	ポーランド POL 2:16:08	ルカシュ・バルシチンスキ (10) 13:58 (10) 13:58	アレクサンドラ・ヤクブチャク (12) 31:17 (15) 17:19	ラドスラウ・クレチェク (14) 1:02:50 (14) 31:33	アグニエシュカ・チオレク (12) 1:19:35 (7) 16:45	アルトゥル・コズウォフスキ (13) 1:50:55 (14) 31:20	カタジナ・コハルスカ (13) 2:16:08 (12) 25:13
14	フィンランド FIN 2:16:48	トウオマス・ヨキネン (12) 14:33 (12) 14:33	サントラ・エリクソン (13) 31:19 (11) 16:46	マルティン・ボストロム (10) 1:01:48 (11) 30:29	ヤニカ・マケラ (11) 1:19:12 (13) 17:24	ミカ・タカラ (14) 1:51:01 (15) 31:49	ミナマリア・カンカス (14) 2:16:48 (15) 25:47
DNF	スウェーデン SWE —	オレ・ワラレング (6) 13:48 (6) 13:48	マリン・リルイエスセツト (10) 30:55 (14) 17:07	ヨエル・ボデーン DNF	ガブリエラ・サミュエルソン (14) 17:26	エリク・ショクビスト (10) 30:22	マリン・エベルロフ (8) 24:48

青木半治杯2009 国際千葉駅伝報告書

日時：2009年11月23日（月・祝）

競走路：千葉県総合スポーツセンター付設マラソンコース（42.195 k m）

結果：日本学生選抜チーム 2時間07分47秒 2位

レース展開

レースの主導権を握ろうと各チームが有力な選手を1区に配置した中、柏原（東洋大）は果敢にスタートから飛び出し、競技場内で、後方集団を20メートル以上引き離す積極的な走りを見せた。1.5キロ付近で先頭集団に吸収さるが、最後まで粘り、5位で2区にタスキをつなぐ。2区の小島（立命大）は、落ち着いた走り、前半を抑え気味に走りながらも、後半のスピードアップで2人を抜き、3位で3区の矢澤（早大）にタスキを渡した。矢澤は、前のオーストラリアとの差を徐々に詰め、8.7キロ付近で一気に抜き去り、単独2位で3区に中継する。4区の森（佛大）はケニアの猛追を何とか凌ぎ、2位で5区へ。5区の石川（明大）は前半自嘲気味に余裕を持って走り、ケニアに追い付かれても動じず、果敢にチェノングに食らいついて行き、ケニアに対して5秒という僅差の3位で6区にタスキ渡す。6区の吉本（佛大）は、最初の下りを利用してスピードにのり、前を行くケニアのヌデレバに2キロ付近で追い付き並走することなく抜き去りそのまま区間トップの記録で、日本代表に続いて、学生選抜最高順位の2位でフィニッシュした。

全体をとおして

今回の日本学生選抜チームは、男子は出雲全日本大学選抜駅伝、女子は全日本大学女子駅伝の成績を元に、選考した。

オーダーは、前半から上位で後半につないでいく流れを想定し、昨年と同様の1区柏原、2区小島を配置し、2年生で積極的な走りをする矢澤、強引な押しとスピードを武器とする森を中盤に配置した。後半は、粘りと責任感のある石川、そして、アップダウンの得意な吉本を起用し、3位以内を目標に世界のレベルと共に戦い、挑戦することを目標とした。

前日は小雨の降る中、男子は午前中、女子は午後各自で調整。レース当日は、晴天となり気温も上がった。快適な駅伝日和で、選手たちはアップもしやすく、タスキの受け渡しもスムーズにいった。

レースの結果は目標順位3位を上回る2位だった。これは、選手が世界のレベルに対して物怖じすることなく、積極的にそして果敢に挑戦していったことに尽きる。

また、4日しか共に行動しなかった選抜チームだが、選手全員がお互いに尊敬し合いよりよい刺激をそれぞれから受け合っていた。そして、この8人がこれからの日本長距離界のレベルアップに貢献していこうと誓い合っていた。

最後になりましたが、本大会に際し、山下誠先生（玉川大学）、仲村明先生・鯉川なつえ先生（共に順天堂大学）、渡辺康幸先生（早稲田大学）、山本豪先生（明治大学）をはじめ、日本学連の役員の方々、学生幹事の方々、関係各位のお力添えに感謝し、御礼申し上げます。

2009国際千葉駅伝日本学生選抜チーム

監 督 伊東 輝雄（京都産業大学）

コーチ 森川 賢一（佛教大学）

マネージャー 福原 雅史（日本学生連合）

第1区（8 km）柏原竜二（東洋大学）

レース前目標：13分40秒で走る。チーム3位以内。

レース結果：13分46秒 区間5位・通過5位

レース後感想：今回、昨年に続き1区を走らせていただいて、去年はレースに参加できず終わってしまったので、今年こそは少しでも自分らしいレースをしたかったため最初から自分のペースを保って走った。中盤は5位まで下げてしまったが、最後まで粘ることができた。

今後の抱負：大切な大会があと1つ残っているので、結果を出せるようにこれからの練習を集中していきたいと思う。

第2区（5 km）小島一恵（立命館大学）

レース前目標：この大会に4年間選んでいただき、最後の学生選抜としての出場となるので今までで一番よい走りをして結果を出す。チーム目標3位！！区間順位3位以内！！

レース結果：15分48秒 区間3位・通過3位

レース後感想：全体として、学生選抜が過去最高の2位という結果を残すことが出来てよかった。他大学の選手と気持ちをひとつにして走れたことが本当に楽しかった。個人としては、昨年よりタイムは縮めることが出来たがまだまだ目標としているタイムにはほど遠かった。力も出し切る前に終わってしまった感じだったので、もっとつっこめる走りが出来るようにしなければいけないと思った。でも、順位をしっかりと上げていくことが出来たのは収穫だったように思う。

今後の抱負：今回の駅伝で多くのことを学んだので、今後のトレーニングやレースに生かしていけるようにしていく。自分の走りに不足しているのは、やはりスピードであると思うので、その点を伸ばしていけるようにしていく。今回で学生選抜として走れるのは最後だったので、これからは日本の代表として走れる選手になれるようにする。そして今回一緒に戦った仲間と切磋琢磨して成長していきたい

第3区（10 km）矢澤 曜（早稲田大学）

レース前目標：貴重な経験になると思う。国際大会であることに加え、学生選抜としての出場のために、相手は皆プロアスリートとして活躍するトップ選手ばかりである。学生である今、世界を体験できる他にないチャンスと感じる。与えてもらったこのチャンスを最大限に生かすために、果敢に挑戦し全力を尽くすと同時に、広い視野を持って競技に臨み多くを吸収する大会としたい。

レース結果：29分24秒 区間3位・通過2位

レース後感想：今回のレースではなにより、各国の選手と戦うとはどういうことなのかを知れた。これまで全くイメージできなかった、国際大会のビジョンを持てるようになった。勝負は戦う相手を知ることから始まると感じる。目指すところを知らなければ明確に目標を持ってないし、また行動すべきことも定まらないと思う。

また本来異なるチームの選手、そしてライバルである選手と同じチームで戦う中で学んだことも多い。競技に対する姿勢等、例えそれがライバルであっても、見習うべきところは見習い自分の糧としたい。

大きな刺激となった。この大会が駅伝であって、一本の襷を繋いだからこそ感じられた部分であると思う。

今後の抱負：今まで世界で戦うということが自分にとってかけ離れたもので、そこに目標を置くということができなかった。しかしこの大会に参加して具体的なイメージとして想像できるようになった。与えてもらったチャンスに感謝し、挑戦したいというこの想いを忘れずに今後練習に励みたい。またレースの中で学んだことをしっかりチームに持ち帰り、それを還元して、よりチームが高いレベルで活動できるよう主体的に行動していきたい。

第4区（5km）森 唯我（佛教大学）

レース前目標：初めての国際駅伝、学生代表なのでごく楽しみにしています。強い選手の方と一緒に走れる貴重な経験が出来るので、積極的に走りたいと思います。チームの目標は3位で、日本代表チームが見える位置にいます。

レース結果：16分13秒 区間3位・通過2位

レース後感想：総合2位という結果は、過去最高順位で、アンカーがゴールしてくれた時はとても嬉しかったです。しかし、個人的な走りはチームに貢献できなかったのが悔しさが残ります。

短い期間ではありましたが、本当に良い経験が出来ました。ありがとうございました。

今後の抱負：今回の経験はとても貴重なものとなり、陸上に対する意識も今まで以上に高まりました。まだまだ自分は弱いと思ったし、まだまだ強くなるための努力ができると感じました。今後は更に強くなれるよう、この気持ちを忘れず走りたいと思います。次の目標は選抜駅伝優勝なので、これに向けても頑張ります。

第5区（10 km）石川 卓哉（明治大学）

レース前目標：29分10秒 世界のレベルを体感しつつ、その中でベストを尽くす。

レース結果：29分24秒 区間4位・通過3位

レース後感想：どんな相手であっても順位を下げてしまったことは悔しい。タイムも走りの内容もまだまだ力不足だと感じた。しかし、前半突っ込んで後半粘れた点は素直に評価したい。

今後の抱負：今回初めて国際大会を経験できたので、この経験をまずは箱根駅伝で活かせるような努力をしていきたい。そして今度は日の丸をつけて走れるよう今以上に努力していきたい

第6区（7.195 km）吉本ひかり（佛教大学）

レース前目標：今大会は、大学生相手ではなく外国の選手や日本でもトップの選手の方々とのレースになるので、それに少しでも近づけるような走りをしたいです。またチームとしては、去年の順位を1つでも上回りたいと思っています。それに貢献できるように頑張ります。

レース結果：23分12秒 区間1位・通過2位

レース後感想：今回は2位という結果を残すことができ、とても嬉しかったです。また、個人では、区間賞を取ることができ、自分でもびっくりしました。

私は今までに、あまり大きな大会での経験がなく、自分が走ると決まったときは正直不安もありました。しかし、今回走るチャンスをいただいたことで、この経験は自分にとってすごく大きなものとなりました。

こういった機会を与えていただかなければ、他の大学の選手と同じチームで走るということは滅多にないし、世界や日本のトップの選手と走るということも自分にとってはすごく貴重なことだと思います。

今回こういった経験をさせていただいたことが、自分の意識を高めることにも繋がったし、自信にもなりました。これから、この経験自分の走りに生かしていきたいと思います。

今回は、このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。

今後の目標： 今後は12月に全日本の選抜駅伝があるので、それに向けてまた全員駅伝で、チームのみんなと頑張っていきたいと考えています。

また個人では、5000メートルで自己ベストを更新することが今後の目標です。

補員：三岡 大樹（京都産業大学）

レース前目標： 一流選手はどのようなことをしているのかということを見て学ぶ。世界大会の雰囲気を味わう

レース後感想： チームは2位だったのは本当に嬉しいが、私自身は補欠で走ってはいないので素直に喜べない。嬉しい思いをした分悔しい思いもした。それでも世界レベルの大会を経験させていただけたのは自分の中でプラスになったと思う。来てよかったと心から思った。

今後の抱負： 自分はまだまだ力もないし、関西で戦うのが精一杯。

でも千葉国際駅伝を見て自分も走りたいと思ったし、もっと強くなりたいと思った。

いつか自分も日本のトップに立ちたい。そのためにも今回学んだことを忘れずこれからも一生懸命練習に励んでいきたいと思う。

補員：西原 加純（佛教大学）

レース前目標： 今回は故障で選手として走ることはできないけど、チームの一員としてしっかりサポートし、過去最高順位を全員でねらっていく。

また、はじめての国際千葉駅伝なので、いつもと違う雰囲気を楽しみながら色々なことを吸収したい。

レース後感想： みんなの走っている姿がとにかくカッコよかった。チームで一緒にご飯食べたりワイワイしていたけど走るとやっぱりみんなすごく強くて、感動した。その反面、私も走りたかったと何度も思った。でも、全力でサポートしてチームが2位という結果になったことはすごく嬉しかった。今回は補欠だったけど、この経験は私にとって必要なことだったと思うし、この嬉しさと悔しさを忘れずにこれから走っていこうと思う。

今後の抱負： 今回の大会で強く思ったことは、もっと自分に厳しく、本気になるということ。走ることは好きだし、いくらでも走りたいという気持ちがある反面、どこか自分に甘かったり、適当だったり、妥協したり、気持ちが切れることもあったと思う。もっと強く気持ちを持って取り組んでいこうと改めて考えさせられた大会だった。

来年は走ります。ありがとうございました。



第55回指導者会議

主催：社団法人日本学生陸上競技連合

日時：平成21年12月12日(土) 12時50分～

場所：日本青年館503会議室

1. 競走馬のトレーニングからみた陸上競技トレーニングへの示唆

平賀 敦(日本中央競馬会競走馬総合研究所運動科学研究室 室長)

競走馬のトレーニングや測定結果を基に陸上競技の部分に重ね合わせるように紹介をして頂き、指導者が陸上競技のトレーニングや試合にどのように活かしていけばよいかを研究データを基に講演していただいた。

2. ユニバーシアード競技大会（2009/ ペオグラード）報告

山下 誠(強化委員・玉川大学)

過去最高のメダル獲得数に及んだユニバーシアード日本代表チームの戦いぶりをチームの総務として取り纏めていた山下委員より詳細な報告がなされた。ペオグラードという土地勘の無い所での、事前調査をしながら、選手のコンディションを維持した経緯をお話いただいた。

【平成21年度勲功章受章者】

江里口匡史(早大) 第12回世界陸上競技選手権 4×100m・4位

金丸 祐三(法大) 第25回ユニバーシアード競技大会 400m・優勝／4×400m・3位

廣瀬 英行(慶大) 第25回ユニバーシアード競技大会 4×400mR・3位

石塚 祐輔(筑波大) 第25回ユニバーシアード競技大会 4×400mR・3位

吉田 和晃(順大) 第25回ユニバーシアード競技大会 400mH・2位／4×400mR・2位

大西 智也(旭化成・東洋大卒) 第25回ユニバーシアード競技大会 ハーフマラソン・2位

高橋萌木子(平成国大) 第25回ユニバーシアード競技大会 100m・2位

西原 加純(佛大) 第25回ユニバーシアード競技大会 5000m・2位／10000m・優勝

齊藤 千聖(城西大) 第25回ユニバーシアード競技大会 ハーフマラソン・優勝

津崎紀久代(名城大) 第25回ユニバーシアード競技大会 ハーフマラソン・2位

野村 沙世(名城大) 第25回ユニバーシアード競技大会 ハーフマラソン・3位

淵瀬真寿美(大塚製薬・龍谷大卒) 第25回ユニバーシアード競技大会 20kmW・2位

※第78回日本インカレ(2009年9月開催)において贈与式が行われました。

2. 子どもから成人、アスリートに至るまでの跳躍能力の発達特性

遠藤 俊典(青山学院大学)

子どもから成人、アスリートに及ぶ世代段階的な観点から跳躍能力の特性を明らかにしたものを発表していただいた。跳躍の方法による年齢等によるパフォーマンス発揮の相違など非常に興味深い研究データを明示していただいた。

第7回全日本大学女子選抜駅伝競走

主 催：社団法人日本学生陸上競技連合/テレビ東京

後 援：文部科学省/茨城県/茨城県教育委員会/つくば市/つくば市教育委員会/筑波大学/日本経済新聞/
スポーツニッポン新聞社/テレビ北海道/テレビ愛知/テレビ大阪/テレビせとうち/TVQ九州放送

運営協力：関東学生陸上競技連盟/茨城陸上競技協会

協 賛：株式会社常陽銀行

協 力：シチズン時計株式会社/東日本旅客鉄道株式会社/大塚製薬株式会社

支 援：茨城県警察本部/つくば中央警察署/つくば北警察署

賛 助：つくば市商工会/つくば市体育協会/つくば市体育指導員協議会/つくば中央地区交通安全協会/
つくば北地区交通安全協会/常陽銀行・常陽ボランティア倶楽部/つくば市農業協同組合

企画協力：株式会社アサツー ディ・ケイ/株式会社つくばスポーツインテリジェンス

期 日：平成21年(2009年)12月23日(水・祝)

コ ー ス：スタート・つくば中央公園 ⇒ フィニッシュ・筑波大学陸上競技場 (6区間30.67km)

【優勝監督賞】

氏名	大学名
森川 賢一	佛教大学

【気象条件】

時刻	天候	気温	湿度	風向	風速
12:00	晴	13.0℃	34.0%	西	1.6m/s
13:30	晴	12.0℃	40.0%	西北西	1.7m/s

【総合成績表】

◎:大会新 ★:区間新 ☆:区間タイ記録 上段:選手氏名 中段:通過記録[順位] 下段:区間記録[順位]

順位	チーム 記録	第1区 (6.0km)	第2区 (6.6km)	第3区 9.1km)	第4区 (4.9km)	第5区 (4.0km)	第6区 (8.0km)
		つくば中央公園～ 茗溪学園	茗溪学園～ 筑波宇宙センター	筑波宇宙センター～ 筑波大学本部棟	筑波大学本部棟～ 大穂交差点	大穂交差点～ 筑波大学病院	筑波大学病院～ 筑波大学陸上競技場
1	佛 教 大 ◎ 1:37:35	森 唯我 (1) 15:44 (1) 15:44	森 知奈美 (2) 25:09 ☆ (2) 9:25	吉本ひかり (1) 42:19 (1) 17:10	石橋 麻衣 (1) 53:15 ★ (1) 10:56	竹地 志帆 (1) 1:12:40 ★ (1) 19:25	西原 加純 (1) 1:37:35 (2) 24:55
2	立 命 大 1:38:35	沼田 未知 (3) 15:51 (3) 15:51	山本菜美子 (1) 25:07 ★ (1) 9:16	竹中 理沙 (2) 42:54 (2) 17:47	田中 華絵 (2) 54:19 (2) 11:25	岩川真知子 (2) 1:14:04 (2) 19:45	小島 一恵 (2) 1:38:35 ☆ (1) 24:31
3	名 城 大 1:41:16	西川 生夏 (4) 15:55 (4) 15:55	下藤ひとみ (4) 25:24 (3) 9:29	野村 沙世 (4) 43:30 (8) 18:06	井原 未帆 (3) 54:57 (3) 11:27	須谷 綾香 (3) 1:15:34 (9) 20:37	小田切亜希 (3) 1:41:16 (5) 25:42
4	玉 川 大 1:41:22	古宮久美子 (10) 16:04 (10) 16:04	廣川 征耶 (6) 25:45 (6) 9:41	田中 智美 (6) 43:39 (4) 17:54	室井 麻貴 (6) 55:23 (5) 11:44	櫻井 香織 (4) 1:15:50 (3) 20:27	村山 愛美 (4) 1:41:22 (3) 25:32
5	城 西 大 1:42:27	井上 藍 (7) 16:02 (7) 16:02	前崎 友香 (5) 25:42 (5) 9:40	山田 美紀 (5) 43:35 (3) 17:53	須田亜矢子 (4) 55:22 (7) 11:47	中山 裕理 (6) 1:16:20 (12) 20:58	酒井 優衣 (5) 1:42:27 (8) 26:07
6	松 山 大 1:42:33	田村 紀薫 (6) 16:02 (6) 16:02	曾我部真実 (10) 26:07 (15) 10:05	矢野麻利亜 (8) 44:02 (5) 17:55	大塚 寛子 (7) 55:48 (6) 11:46	荒井 優 (5) 1:16:19 (4) 20:31	國仙 幸子 (6) 1:42:33 (9) 26:14
7	白 鷗 大 1:42:56	清水 美穂 (9) 16:04 (9) 16:04	小林 美友 (7) 25:49 (8) 9:45	大江茉莉香 (7) 43:58 (9) 18:09	岩間 晴香 (9) 55:56 (10) 11:58	川又 千聖 (7) 1:16:27 (4) 20:31	高田 晴奈 (7) 1:42:56 (12) 26:29

順位	チーム 記録	第1区 (6.0km)	第2区 (6.6km)	第3区 9.1km)	第4区 (4.9km)	第5区 (4.0km)	第6区 (8.0km)
		つくば中央公園～ 茗溪学園	茗溪学園～ 筑波宇宙センター	筑波宇宙センター～ 筑波大学本部棟	筑波大学本部棟～ 大穂交差点	大穂交差点～ 筑波大学病院	筑波大学病院～ 筑波大学陸上競技場
8	城西国大 1:43:06	細谷 英里 (12) 16:18 (12) 16:18	星野 純子 (11) 26:13 (11) 9:55	阿部有香里 (9) 44:08 (5) 17:55	遠藤 陽奈 (8) 55:55 (7) 11:47	大橋 春香 (8) 1:16:33 (10) 20:38	西田かすみ (8) 1:43:06 (13) 26:33
9	九州学連 1:43:09	今屋 美佐 (鹿屋体大) (8) 16:02 (8) 16:02	肥田木理菜 (福岡大) (9) 26:03 (13) 10:01	松浦 七実 (鹿屋体大) (10) 44:28 (10) 18:25	平田 絵美 (立命 APU) (10) 56:32 (11) 12:04	佐田真里奈 (福岡大) (10) 1:17:03 (4) 20:31	安里真梨子 (神縄国大) (9) 1:43:09 (7) 26:06
10	日 大 1:43:15	キンゴリ・アン (2) 15:47 (2) 15:47	後藤奈津子 (3) 25:21 (4) 9:34	マナ・ジエミマ (3) 43:17 (7) 17:56	片岡 夕貴 (5) 55:22 (12) 12:05	清水 祥子 (9) 1:16:49 (15) 21:27	白滝 成美 (10) 1:43:15 (11) 26:26
11	東 農 大 1:43:48	生源寺愛美 (17) 16:54 (17) 16:54	尾形ひとみ (17) 27:00 (16) 10:06	森田 知帆 (17) 45:56 (14) 18:56	田村 麻衣 (14) 57:35 (4) 11:39	佐々木亜美 (13) 1:18:08 (7) 20:33	平林 愛実 (11) 1:43:48 (4) 25:40
12	京 産 大 1:44:13	伊藤 恵 (5) 15:57 (5) 15:57	勝谷 夏美 (12) 26:17 (17) 10:20	真尾美乃里 (13) 45:14 (15) 18:57	上畑友香理 (12) 57:24 (13) 12:10	山川 美里 (12) 1:17:57 (7) 20:33	福森 千晶 (12) 1:44:13 (10) 26:16
13	関西学連 1:44:24	徳重 佑梨 (大体大) (11) 16:14 (11) 16:14	伊藤 ふき (奈良産大) (8) 26:01 (10) 9:47	千原恵理香 (龍谷大) (11) 44:46 (13) 18:45	大内 唯衣 (大体大) (11) 56:39 (9) 11:53	亀岡 知美 (関 大) (11) 1:17:40 (13) 21:01	仲間 千華 (阪学大) (13) 1:44:24 (14) 26:44
14	関東学連 1:44:38	土井友里永 (東学大) (15) 16:43 (15) 16:43	野村友香里 (中大) (14) 26:27 (7) 9:44	櫻井 秀巳 (日体大) (12) 45:00 (12) 18:33	川鍋 彩 (筑波大) (13) 57:30 (16) 12:30	柴田 美帆 (国士大) (14) 1:18:46 (14) 21:16	新井 由貴 (中大) (14) 1:44:38 (6) 25:52
15	順 大 1:46:21	船木 美果 (16) 16:47 (16) 16:47	望月 晴佳 (15) 26:43 (12) 9:56	北村 沙織 (15) 45:41 (16) 18:58	小林 真幸 (17) 58:19 (17) 12:38	石川賀世子 (15) 1:19:14 (11) 20:55	田中 幸 (15) 1:46:21 (17) 27:07
16	東北学連 1:47:46	古瀬 麻美 (福島大) (14) 16:40 (14) 16:40	石山真紀子 (東北福大) (13) 26:25 (8) 9:45	蓑輪 美穂 (東北福大) (14) 45:35 (17) 19:10	瓜生 朱音 (福島大) (16) 58:00 (15) 12:25	松井 望 (東北福大) (17) 1:19:51 (18) 21:51	永井 瑞希 (東北大) (16) 1:47:46 (17) 27:55
17	東海学連 1:47:59	勝股梨江子 (愛教大) (19) 17:14 (19) 17:14	田口 恵理 (富士常葉大) (18) 27:17 (14) 10:03	垣津 奈美 (名 大) (16) 45:45 (11) 18:28	鈴木 沙希 (岐阜大) (15) 57:56 (14) 12:11	花岡 紗耶 (愛教大) (16) 1:19:38 (17) 21:42	松野 真帆 (中京女大) (17) 1:47:59 (19) 28:21
18	北信越学連 1:48:24	渡辺 智子 (新潟大) (13) 16:20 (13) 16:20	渡辺 杏滯 (新潟大) (16) 26:47 (18) 10:27	柴澤真南美 (新潟医福大) (18) 46:13 (18) 19:26	堀内 曜子 (新潟医福大) (18) 58:54 (18) 12:41	浅田 志帆 (信 大) (18) 1:20:33 (16) 21:39	今野まどか (新潟大) (18) 1:48:24 (16) 27:51
19	中国四国学連 1:51:35	大坪 恭子 (東亜大) (18) 17:14 (18) 17:14	川高ちひろ (美作大) (19) 28:00 (20) 10:46	渡部友紀子 (岡山大) (19) 47:55 (20) 19:55	浅野みゆき (愛媛女短大) (19) 1:00:38 (19) 12:43	原田 和恵 (岡山大) (20) 1:23:36 (20) 22:58	鈴山 恵里 (東亜大) (19) 1:51:35 (18) 27:59
20	北海道学連 1:52:40	澤向美沙希 (北教大) (20) 17:59 (20) 17:59	只野 奏子 (北大) (20) 28:34 (19) 10:35	小川亜里沙 (北翔大) (20) 48:26 (19) 19:52	吉田 遥 (札幌大) (20) 1:01:23 (20) 12:57	吉田 江里 (北海学大) (19) 1:23:27 (19) 22:04	野村 美咲 (北教大) (20) 1:52:40 (20) 29:13

第80回理事会議事録

期 日 平成21年12月12日(土) 15:30～

場 所 日本青年館503会議室

出席者 関岡康雄副会長・専務理事、青葉昌幸副会長、大西清司、神尾正俊、近藤龍彦、米谷元捷、金子今朝秋、森本葵、三條俊彦、安藤好郎、栗山佳也、伊東輝雄、和田正信、片峯隆の各理事、石澤隆夫、田中淳浩の両監事

委 任 保利耕輔会長、園田裕四郎副会長、尾縣貢、澤木啓祐、藤井邦夫、岩壁達男の各理事

その他の出席者 浅見美弥子女子委員長、吉村篤司国際委員、蒲原一之医事委員長、福原雅史幹事長、北野史子秘書、佐藤由理会計、各地区学連幹事長

定足数 理事20人(うち委任6名)の出席により定足数13を満たすので理事会成立

○議長 関岡康雄副会長・専務理事を議長に選出

○議事録署名人 栗山佳也理事、近藤龍彦理事を議事録署名人に指名

○報告事項

第1号 前回理事会以降の会務について

(関岡副会長・専務理事)

12月11日現在の普通会员登録数を報告。【資料1】

①天皇賜杯第78回日本学生陸上競技対校選手権大会

(神尾理事・審判指導委員長)

9月4日～6日まで国立競技場にて開催。競技運営でトラック種目は問題なく進行。フィールド種目に関しては3日間過密ダイヤ。強化委員会が、400m、400mHの準決勝設置の検討。また、練習場が狭く特にリレーのアップ場所がないなどの意見。これらは検討事項。

②第55回指導者会議

(金子理事・強化副委員長)

「競走馬からみた陸上競技トレーニングへの示唆」ということで日本中央競馬会競走馬総合研究所運動科学研究室室長の平賀氏、「ユニバーシアード競技大会(2009／ベオグラード)報告」を強化委員の山下委員、「子どもから成人、アスリートに至るまでの跳躍能力の発達特性」を青山学院大学の遠藤氏の3名が行った。質問も多数寄せられ大変好評。

③第21回出雲全日本大学選抜駅伝競走

(神尾理事・審判指導委員長)

10月12日(火・祝)に開催。新型インフルエンザの影響が懸念されたが、特に問題なく終了。また、3区と4区のコースが交差する部分が左回りのスムーズなコースに変更しての開催。17時より浜山競技場にて競技会を開催したが、こちらも白熱。

(和田理事)

コース変更に伴い踏切を渡らなければならないコースとなった。道幅が狭く心配したが、無事に終了して

よかった。

(伊東理事・強化副委員長)

駒澤大学は東京箱根間往復大学駅伝競走予選会もあったが、出場してくれたのでよかった。今後もそのような対応を関係者に願う。

(関岡副会長・専務理事)

出雲市からの提案で近隣諸国の大学の招待を検討中。IVYリーグ招待についても検討中。

④秩父宮賜杯第49回実業団・学生対抗陸上競技大会

(神尾理事・審判指導委員長)

10月17日(土)に平塚競技場にて、男子10種目、女子9種目で開催。実業団207点、学生168点で実業団の勝利。風の影響がある種目はバックストレートで実施。男子800mにはペースメーカーを採用。次回大会は50回記念大会。日本学連の当番で小田原にて開催予定。

(関岡副会長・専務理事)

50回大会は種目数と競技場、日程などは変更も考慮。記念大会なので記念事業を検討中。

⑤第27回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

(神尾理事・審判指導委員長)

第1招集を大会本部のホテルコムズ仙台で実施したが、場所が狭かった。中継所までの選手の搬送も苦労。閉会式を始めて市民広場(屋外)にて実施。観客も多く盛り上がった。

(東北学連幹事長)

閉会式は、今回は雨が降らずよかったが、雨天対策が必要。

(伊東理事・強化副委員長)

第1招集は競技場に一括して選手を集め、そこから中継所に選手を送ってもらいたいとの要望が各チームの監督からは多い。閉会式については、来年以降はスムーズに行くのではないかな。

(関岡副会長・専務理事)

バスを競技場駐車場に多くは駐車できないので、ホテルのロビーにて招集を行った。今後の課題。

⑥秩父宮賜杯第41回全日本大学駅伝対校選手権大会

(神尾理事・審判指導委員長)

11月1日の午前8時10分にスタート、8区間で行われた。

午前中に気温上昇し、選手へ監督からの給水を実施。8区でも審判が手渡しで給水。8区後半は小雨が降って涼しくなった。コース上の橋の耐震強化工事を今年、来年と実施するので交通制限の関係があったが、無事に終了。監督会議を受けて、給水が今後の課題。

(安藤理事)

大会1週間前より給水について要望、質問があったが、その時点では対応不可能。監督バスに積んでいた水が不足。給水については検討が必要。東海学連の問題。朝日新聞社のスタッフ不足で、学生が重労働。朝日新聞社との作業の分担をした。

(伊東理事・強化副委員長)

監督より給水の要望。5キロ地点で実施したが、タイミングが早すぎる。監督の手渡しが多かった。今後は中間点以降に1ヶ所給水を設ける。緊急時を除いて基本的には各区分1ヶ所だが、最終区は2ヶ所設置を要望。

(森本理事)

給水には人命尊重の意味が強い。各区分1回、最終区2回、審判長の許可を得て緊急・応急の時に行う。

(青葉副会長)

競技規則で助力は禁止されている。駅伝で優勝という目標が強過ぎ、駅伝を通じて競技者を育てることをしていない。関係者には今一度考慮を要望。

(関岡副会長・専務理事)

給水についての要望は、事前の段階で出してもらい、十分検討できる余裕がほしい。強化委員会と審判指導委員会で早めに方向性を示してもらいたい。

⑦ 2009 国際千葉駅伝

(伊東理事・強化副委員長)

学生選抜チームは出雲全日本大学選抜駅伝競走と、全日本大学女子駅伝対校選手権大会より選抜。1区柏原君(東洋大)から流れを作った。目標は日本代表チームの背中に見える位置で走る、昨年の4位を上回る3位で走ろうという2つ。結果的にアンカーでケニアを抜いて2位と過去最高成績。この経験が次に活きるという感想が選手から聞かれた。

⑧ 第7回全日本大学女子選抜駅伝競走の準備状況

(神尾理事・審判指導委員長)

12月23日(水・祝)の12時05分スタート予定。短期間で準備を進行中。

経済危機の煽りを受けている。テレビ放映は中継ではなく、27日(日)16時から17時15分。監督控室でのテレビ観戦が不可能。よって監督車を運行予定。乗車についてアンケートを実施。

記録のトランスポンダー計時ができないので、手動計時で行う。

(関岡副会長・専務理事)

トランスポンダー計時を行わない理由としては、テレビの生中継がなく記録の即時性が不必要。経費節約をして、大会を実施したい。

⑨ スポーツ安全保険

(大西理事・総務副委員長)

現在、日本学生陸上競技総合補償制度について普通会员は強制加入。審判活動、補助員活動等の補償がない。事務局で調べたスポーツ安全保険では大会運営等の活動も担保範囲。補助員に不慮の事故等あった場合、現在の補償制度は欠陥があるのではないか。総合保障制度から移行するには、保険掛金上がる等を踏まえ、各方面の意見を聞く必要がある。2010年は準備期間として、2011年度に向けて任意加入を検討。総務委員会では2011年度に普通会员のスポーツ安全保険加入を目標。【資料2】

(関岡副会長・専務理事)

学生役員や理事、評議員などが任意で加入しながら、追々全員がスポーツ安全保険に移行していったと考えている。来年3月理事会で具体的に協議事項として提案予定。

⑩ その他

(関岡副会長・専務理事)

本年度から日本陸上競技連盟主催道府県対抗駅伝に男子は天皇盃、女子は皇后盃が授与されることになったそうである。このことを受け、宮内庁の指示により「杯」を「盃」に統一するための検討が陸連、実業団連合、

学生連合間で行なわれた。宮内庁によれば、「賜」は下賜という方法を示す言葉であって、物は「天皇盃」となるとのことである。河野陸連会長は「天皇盃」で、保利会長は「天皇賜盃」としてはという意見であり、日本陸連で調整中。3月の理事会までに詳細を提示予定。日本学連では、日本学生陸上競技対校選手権大会に天皇賜杯、秩父宮妃杯を、全日本大学駅伝対校選手権大会に秩父宮賜杯を、実業団・学生対抗陸上競技大会に秩父宮賜杯を賜っているが、日本陸連との調整の結果によって、従来の表記と変わることもある。

(金子理事・強化副委員長)

不正スタートの対応について、強化委員会、審判指導委員会を開催。国際陸連は2010年より採用。日本陸連でも2010年より不正スタート発見装置を設置して実施。強化委員会では来年度より発見装置なしで実施と合意。審判指導委員会でも同意。

(神尾理事・審判指導委員長)

新ルール適用は日本インカレと個人選手権が対象。地区学連主催競技会については地区学連ごとに判断してほしい。

第2号 学生幹事会議について

(福原幹事長)

平成22年度学生役員案を資料3のように決定したが、一部、結論が出ていない。学生役員の正式決定は3月の理事会、総会であり、それまでに正案を提案。

第3号 その他

(関岡副会長・専務理事)

・全日本大学女子選抜駅伝競走に関するテレビ東京からの申し出についてテレビ東京の来年度以降の会社方針が未定。場合によっては主催を辞退することも検討中。このことを保利会長にも報告、相談をしているが、具体的な結論は出ていない。

○協議事項

第1号 強化委員会からの提案について

1) 男女の全日本大学駅伝対校選手権大会の基本枠の見直しについて

(金子理事・強化副委員長)

資料4のとおり提案。

—— 承認 ——

2) 世界大学クロスカントリー選手権大会代表選手派遣並びに選考基準について

(金子理事・強化副委員長)

U-23陸連強化策として派遣。2010年4月11日にカナダ・キングストンにて開催。選手選考は千葉国際クロスカントリー大会で行う。選考対象者は平成21年度日本学連登録者1～3年生に限る。エントリーは日本学連経由。選考方法は男子12000m、女子6000mに出場した学生のうち、それぞれ上位4名を選出。世界クロスカントリーの代表を兼ねる場合もある。体調不良、故障等によっては代表内定取り消しもある。【資料5】

(伊東理事・強化副委員長)

エントリーは間違えずに行ってほしい。代表選考対象者は日本学連経由のエントリーのみ。代表辞退者が出れば、順次繰り下げて代表を選出。故障が出た場合も、同様に繰り下げ。千葉国際クロスカントリー大会終了後、強化委員会、ロード対策委員会で選考。

(関岡副会長・専務理事)

日本陸連のU-23の関係での派遣となることから、ユニフォーム等は、アシックス社製のものとなる。

—— 承認 ——

第2号 平成22年度事業日程(案)について

(関岡副会長・専務理事)

資料6のとおり競技会の準備を進めている。3月の理事会で各競技会の要項を提案。

—— 承認 ——

第3号 栄章に関する規程について

(関岡副会長・専務理事)

資料7のとおり修正案を提案する。

—— 承認 ——

第4号 (財)日本陸上競技連盟の栄章候補者の推薦について

(関岡副会長・専務理事)

日本陸連への栄章候補者の推薦は慣例に従い、会長一任でお願いしたい。

—— 承認 ——

第5号 本連合栄章候補者の推薦について

(関岡副会長・専務理事)

本連合の栄章(功労章)候補者の推薦について、所定の手順に従って手続きをお願いしたい。

栄章審査委員会で選考し、次回理事会に諮る。

—— 承認 ——

第6号 その他

(関岡副会長・専務理事)

資料8のとおり、平成22・23年度理事推薦書、平成22年度正会員入会申込書等について所定の手順に従って手続きをお願いしたい。

以上で、議事を終了

平成21年12月12日

【資料1】

日本学連普通会員登録者数(2009年12月11日現在)

	男子	女子	地区合計
北海道	533	182	715
東北	637	241	878
関東	5,107	1,534	6,641
北信越	686	193	879
東海	1,158	453	1,611
関西	2,111	889	3,000
中国四国	1,230	396	1,626
九州	1,126	372	1,498
合計	12,588	4,260	16,848

【資料2】

日本学生陸上競技総合補償制度（現行補償制度）とスポーツ安全保険の比較

スポーツ安全保険：文部科学省認可の財団法人スポーツ安全協会が取り扱っている保険

保険の種類		日本学連総合補償制度	スポーツ安全保険(C区分)
保険料		年間1,190円/名	年間1,600円/名
補償内容	死亡	150万円	2,000万円
	後遺障害	最高150万円	最高3,000万円
	入院	日額1,500円	日額4,000円
	通院	日額1,000円	日額1,500円
	免責	設定なし	設定なし
	日射・熱射病	×	○
	細菌性・ウイルス性食中毒	×	○
賠償責任保険(個人)		(てん補限度額) 身体賠償のみ1名1事故5,000万円	(てん補限度額) 身体・財物賠償合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円
疾病関係		疾病死亡見舞金150万円 (往復途上は対象外)	突然死(急性心不全、脳内出血等)180万円 (往復途上も対象)
担保範囲の例	審判員としての活動	×	○
	補助員としての活動	×	○
	大会役員としての活動	×	○
	ミーティング	×	○
	下見	×	○
往復途上	死亡	50万円	2,000万円
	後遺障害	最高50万円	最高3,000万円
	入院	×	日額4,000円
	通院	×	日額1,500円

注1)補償されるのは「団体の管理下」における団体の活動中に限られます。

注2)往復途上は、自宅～集合場所の最短ルート(合理的な)上に限られます。

【資料3】

平成22年度社団法人日本学生陸上競技連合 学生役員(案)

役 職	氏名	フリガナ	大学	学年	地区学連
幹事長	北野 史子	キタノ シミ	日本女子体育大学	4	連 合
	佐藤 由理	サトウ ユリ	日本女子体育大学	3	連 合
	川上 将平	カガミ ショウヘイ	日本大学	2	連 合
幹 事	藤田 光	フジタ ヒカル	北海道大学	3	北 海 道
幹 事	寺川 直樹	テラカワ ナキ	東北大学	3	東 北
幹 事	風間実可子	カザマ ミコ	日本女子体育大学	4	関 東
幹 事	関 慶太郎	セキ ケイタロウ	日本大学	3	関 東
幹 事	武藤みかほ	ムトウ ミカホ	日本女子体育大学	3	関 東
幹 事	下山 成也	シヤマ セイヤ	法政大学	4	関 東
幹 事	野口あやね	ノグチ アヤネ	駒澤大学	3	関 東
幹 事	野本 竜馬	ノモト リョウマ	信州大学	3	北 信 越
幹 事	佐々木敏也	ササキ トシヤ	名城大学	4	東 海
幹 事	佐久間健地	サカマ ケンヂ	名古屋大学	3	東 海
幹 事	宿院 享	シュクイン スム	京都大学	4	関 西
幹 事	内藤ちあき	ナイトウ チアキ	びわこ成蹊スポーツ大学	3	関 西
幹 事	秋田 祐輔	アキタ ユウスケ	甲南大学	3	関 西
幹 事	松原 栄俊	マツハラ ヒデトシ	広島大学	3	中国四国
幹 事	北原 寛之	キタハラ ヒロユキ	九州産業大学	3	九 州

学生役員の正式決定は、3月の理事会、総会となります（議事録の本文参照）。

【資料4】

平成22年度(2010年度)～平成24年度(2012年度)全日本大学駅伝対校選手権大会

及び全日本大学女子駅伝対校選手権大会の出場基本枠について

全日本大学駅伝								全日本大学女子駅伝							
地区	第39回 2007	第40回 2008	第41回 2009	第42回 2010	第43回 2011	第44回 2012	第45回 2013	地区	第25回 2007	第26回 2008	第27回 2009	第28回 2010	第29回 2011	第30回 2012	第31回 2013
北海道	1	1	1	1	入れ 替え ※1	入れ 替え ※1	見 直 し ※2	北海道	1	1	1	1	入れ 替え ※1	入れ 替え ※1	見 直 し ※2
東北	1	1	2	2				東北	2	2	2	1			
関東	6	6	6	6				関東	6	6	6	6			
北信越	1	2	1	1				北信越	1	2	1	1			
東海	2	2	2	2				東海	2	1	1	2			
関西	3	3	3	3				関西	4	4	4	4			
中国四国	2	1	1	1				中国四国	1	1	2	2			
九州	3	3	3	3				九州	2	2	2	2			

※1 入れ替えの年は、前年度の結果によって、複数出場地区の中で最下位の地区の枠を1減とし、単数出場地区の中で最上位の地区の枠を1増とする。

例) 2011年度は、2010年度の結果で、東北、関東、東海、関西、九州の中で最下位の地区の枠を1減とし、北海道、北信越、中国四国の中で最上位の地区の枠を1増とする。

※2 見直しの年は、前年度までの3か年分の登録数と結果によって、以下の要領で全地区の枠を決定する。

【資料5】**第17回世界大学クロスカントリー選手権大会
代表選手派遣並びに選考基準****I．大会期日**

平成22年4月11日（日）

II．場所

キングストン（カナダ）

III．選考競技会

第45回千葉国際クロスカントリー大会

期日 平成22年2月14日（日）

場所 千葉市「昭和の森」

IV．選考対象者

- 1) 平成21年度（社）日本学生陸上競技連合加盟校登録競技者で、平成22年度も登録を予定される競技者に限る。
- 2) 第45回千葉国際クロスカントリー大会に日本学連経由でエントリーをした者。

V．選考方法

- 1) 第45回千葉国際クロスカントリー大会、一般の部男子12000m、女子6000mを選考レースとする。
- 2) 男女とも学生上位者より4名を選出する。

VI．申込方法

各大学より日本学連にて受付け、一括して大会事務局に申し込む。

VII．その他

- 1) 選手は世界クロスカントリー代表と兼ねることがある。
- 2) 本大会までに故障などのために競技力を十分に発揮できないと強化委員会が判断した場合には内定を取り消す。

【資料6】**第17回世界大学クロスカントリー選手権大会****代表選手選考競技会(第45回千葉国際クロスカントリー大会) 申込要項**

- 1.参加資格 1) 平成21年度(社) 日本学生陸上競技連合加盟校登録競技者で、第1~3学年に在籍する者に限る。
- 2.参加料 1名につき 3,000円 【申込方法2)を参照のこと】
- 3.申込方法 1) 日本学連が配布する出場申込書に必要事項を記入し、申込締め切り日までに郵送で(社) 日本学生陸上競技連合に提出後、必ず電話かメールで確認を取ること。但し、電話やFAXによる申し込みは一切受け付けない。
2) 申込料については、振込み締め切り日までに下記の口座に振り込むこと。振込みの際は必ず大学名で振り込むこと。振込み完了後は、参加料振込み報告書(別紙参照)に必要事項を記入し、振込み明細を添付のうえ、FAXで送信すること。送信後は、必ず電話かメールで確認を取ること。
- 4.締切日 1) 出場申込書 平成22年1月5日(火)
 2) 参加料 平成22年1月12日(火)
 締切日を過ぎたものについては、一切受け付けない。
- 5.注意事項 1) 参加資格を満たさない者については、第45回千葉国際クロスカントリー大会要項に準じた方法で申し込むこと。
2) 本連合では男子12000m、女子6000m（選考レース）以外の種目の申し込みは一切受け付けない。
3) 本連合を通じて申し込みを行わない場合は、選考の対象とならない。
4) 出場申込書は記入例を参照し、記載事項の漏れや間違いのないように作成すること。
5) 参加料は、いかなる場合でも返却しない。
- 6.振込口座 銀行: 三井住友銀行 渋谷支店
 口座: 普通 5304419
 名義: 社団法人日本学生陸上競技連合
- 7.その他 不明な点は下記の連絡先まで問い合わせること。
 ただし、年末年始(12月29日~1月4日) は休業日につき、問い合わせや確認については、すべてメールで行うこと。

社団法人 日本学生陸上競技連合
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル二階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569
E-mail juauj@joy.ocn.jp
(土、日、祝日を除く18時~21時)
(年末年始休業日 12月29日~1月4日)

平成22年度(2010年度) 社団法人日本学生陸上競技連合 事業日程 (案)

平成22年(2010年)

2009. 12. 12現在

月	日	競技会・会議等	会場
4月	11日(日)	第17回世界大学クロスカントリー選手権 (選手派遣)	キングストン(カナダ)
5月	29日(土)	第82回理事会	日本青年館(東京)
	29日(土)	第53回総会	日本青年館(東京)
6月	18日(金)～20日(日)	2010日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場(神奈川)
7月			
8月	22日(日)	ニューカレドニア・マラソン(選手派遣・ハーフマラソン)	ヌメア市(ニューカレドニア)
9月	10日(金)～12日(日)	天皇賜杯第79回日本学生陸上競技対校選手権大会	国立競技場(東京)
10月	11日(月・祝)	第22回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲市(島根)
	16日(土)	秩父宮賜杯第50回実業団・学生対抗陸上競技大会	小田原市城山陸上競技場(神奈川)
	24日(日)	第28回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市(宮城)
11月	7日(日)	秩父宮賜杯第42回全日本大学駅伝対校選手権大会	名古屋市(愛知)～伊勢市(三重)
	23日(月・祝)	2010国際千葉駅伝 (学生選抜チーム派遣)	千葉市(千葉)
12月	11日(土)	第56回指導者会議	調整中
	11日(土)	第83回理事会	調整中
	23日(木・祝)	第8回全日本大学女子選抜駅伝競走	つくば市(茨城)

平成23年(2011年)

1月			
2月			
3月	13日(日)	第14回日本学生ハーフマラソン選手権大会	立川市・昭島市(東京)
	13日(日)	第5回日本学生20km競歩選手権大会	能美市(石川)
	20日(日)	第14回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	松江市(島根)
	調整中	第36回学生幹部役員研修会	調整中
	調整中	第84回理事会	調整中
	調整中	第54回総会	調整中

※3月27日(土)の理事会・総会で最終決定します。

競技運営に関する満足度調査

—競技者と学生補助員の視点から—

審判指導委員会編

陸上競技大会の競技運営のあり方を検討する視点としては、競技規則(ルール)を始めとして、競技運営に関わる審判員(学生審判員)の養成や研修、競技補助員(学生補助員)への対応、競技者やコーチへの対応、そして観客への対応等が重要であると言われている。

日本学生陸上競技連合審判指導委員会は、よりよい競技運営の諸環境を整えるために各競技大会における競技運営の現状を把握し、今後の課題を具体的に明らかにすることとした。そのために2006年から満足度アンケート調査を行って、研究誌の「陸上競技研究」に投稿してきた。本稿は掲載された7点(文献参照)の要約である。

1. 調査目的

7点に共通した研究目的は、全国大会(個人選手権大会または日本IC)における競技者(または学生補助員)を対象としたアンケート調査から、競技運営の満足度を数値化すると共に改善度も算出することにあった。その結果は主催者が運営協力の組織または団体等と協同して今後の競技運営を具体的に検討するための基礎資料になると考えたからである。研究の性格としては顧客満足度調査(Customer Satisfaction)である。

2. 研究方法(概要)

- 1) アンケート調査票や調査方法、回収状況、有効標本数等については文献参照のこと。
- 2) 満足度と改善度に関する数値化の手続きについては、菅(2004)の方法に準じた。

3. 結果の概要

満足度と改善度の調査結果は、次の通りであった(表1～表7)。

表1 調査 A: 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会 2006(競技者:混成競技)

アンケート項目	満足度の区分(標本数n=11)			改善度
	悪いf (%)	普通f (%)	良いf (%)	
1) 混成競技専用更衣室(控室)の広さ、トイレ、シャワーなど	2(18.2)	2(18.2)	7(63.6)	-3.02
2) 練習場(子机競技場)の施設(使いやすさ、きれいさ等)	2(18.2)	1(9.1)	8(72.7)	-12.41
3) 練習場(子机競技場)における係員の対応	1(9.1)	5(45.5)	5(45.5)	1.54
4) 招集所における係員の対応	0(0.0)	4(36.4)	7(63.6)	-5.99
5) 初日や二日目における2種目以降の競技開始時刻(早・遅)	2(18.2)	5(45.5)	4(36.4)	5.82
6) トラック種目のグルーピング(組の編成)	1(9.1)	5(45.5)	5(45.5)	1.54
7) 高さの種目(走高跳・棒高跳)のグルーピング(組の編成)	0(0.0)	6(54.5)	5(45.5)	-10.09
8) 投てき種目の用具(メーカー、規格や数など)	2(18.2)	5(45.5)	4(36.4)	-7.06
9) 試技(競技)開始前の練習(時間や場所など)	3(27.3)	6(54.5)	2(18.2)	7.79
10) トラック種目における審判員の対応(審判技術含む)	1(9.1)	7(63.6)	3(27.3)	12.11
11) 跳躍種目における審判員の対応(審判技術含む)	1(9.1)	7(63.6)	3(27.3)	16.11
12) 投てき種目における審判員の対応(審判技術含む)	2(18.2)	6(54.5)	3(27.3)	9.66

アンケート項目		満足度の区分(標本数n=11)			改善度
		悪いf (%)	普通f (%)	良いf (%)	
13)	混成競技者係の対応(諸連絡やリザルト掲示含む)	0(0.0)	3(27.3)	8(72.7)	-17.7
14)	練習場や競技場における水(ペットボトルなど) のサービス	0(0.0)	4(36.4)	7(63.6)	-5.99
15)	フィールド種目におけるテント・サービス	5(45.5)	2(18.2)	4(36.4)	11.32
16)	アナウンス(内容やタイミングなど)	0(0.0)	5(45.5)	6(54.5)	1.88
17)	総合的にみて、今大会における混成競技の運営について	0(0.0)	5(45.5)	6(54.5)	

出所:陸上競技研究67（2006.NO.4）p.47

表2 調査 B: 全日本学生陸上競技チャンピオンシップ 2006（競技補助員・審判講習者）

アンケート項目		満足度の区分(標本数n=140)			改善度
		悪いf (%)	普通f (%)	良いf (%)	
1)	競技規則の習得	23(16.4)	56(40.0)	61(43.6)	5.8
2)	競技運営に関する(技術的) 方法	16(11.4)	55(39.3)	69(49.3)	-1.63
3)	仲間(競技補助員) との協同	11(7.9)	43(30.7)	86(61.4)	-10.62
4)	審判員の指導のしかた	23(16.4)	43(30.7)	74(52.9)	8.65
5)	休憩時間	25(17.9)	42(30.0)	73(52.1)	-3.25
6)	(担当部署の) 総合的評価	14(10.0)	53(37.9)	73(52.1)	

出所:陸上競技研究69（2007.NO.2）p.40

表3 調査 C: 全日本学生陸上競技チャンピオンシップ 2006（競技者）

アンケート項目		満足度の区分(標本数n=52)			改善度
		悪いf (%)	普通f (%)	良いf (%)	
1)	競技場の更衣室(広さやきれいさ)	5(9.6)	25(48.1)	22(42.3)	-6.58
2)	競技場のトイレ・シャワー (数やきれいさ)	7(13.5)	21(40.4)	24(46.2)	1.52
3)	練習場(大原高校等) の施設	25(48.1)	21(40.4)	6(11.5)	-0.22
4)	平塚競技場の施設や用具	11(21.2)	28(53.8)	13(25.0)	3.07
5)	競技会のルールや注意事項	4(7.7)	31(59.6)	17(32.7)	-0.94
6)	マッサージまたはアイシングの場所や広さ	8(15.4)	36(69.2)	8(15.4)	9.05
7)	練習場や競技場における水(ペットボトルなど) のサービス	5(9.6)	12(23.1)	35(67.3)	-3.46
8)	あなたが参加した種目の競技開始時刻(早い、遅い)	8(15.4)	31(59.6)	13(25.0)	1.33
9)	練習場における審判員の対応	9(17.3)	28(53.8)	15(28.8)	-7.53
10)	招集所における審判員の対応	5(9.6)	31(59.6)	16(30.8)	-1.37
11)	競技場に入ってから競技開始前の練習(時間や場所)	9(17.3)	26(50.0)	17(32.7)	5.06
12)	競技場における審判員の対応(運営や審判技術含む)	5(9.6)	29(55.8)	18(34.6)	-3.48
13)	アナウンス(記録、諸連絡、表彰、アナウンスのタイミングなど)	8(15.4)	29(55.8)	15(28.8)	4.53
14)	競技運営の総合的評価	5(9.6)	28(53.8)	19(36.5)	

出所:陸上競技研究73（2008.NO.2）p.37

表 4 調査 D: 日本学生陸上競技個人選手権大会 2008 (競技者)

		満足度の区分(標本数n=85)			改善度
		悪い(%)	普通(%)	良い(%)	
1)	C 調 査 と 同 じ 項 目	12(14.1)	50(58.8)	23(27.1)	-2.86
2)		16(18.8)	47(55.3)	22(25.9)	-5.45
3)		48(56.5)	27(32.9)	10(10.6)	4.43
4)		23(27.1)	43(50.6)	19(22.4)	8.66
5)		5(5.9)	46(54.1)	34(40.0)	-2.54
6)		8(9.4)	61(71.8)	16(18.8)	1.97
7)		1(1.2)	31(36.5)	53(62.4)	-12.87
8)		18(21.2)	45(52.9)	22(25.9)	-2.89
9)		7(8.2)	45(52.9)	33(38.8)	2.71
10)		5(5.9)	42(49.4)	38(44.7)	1.72
11)		19(22.4)	37(43.5)	29(34.1)	-2.52
12)		8(9.4)	43(50.6)	34(40.0)	1.03
13)		16(18.8)	35(41.2)	34(40.0)	4.38
14)		6(7.1)	47(55.3)	32(37.6)	

出所:陸上競技研究74 (2008.NO.3) p.50

表 5 調査 E: 日本学生陸上競技個人選手権大会 2008 (競技補助員)

アンケート項目		満足度の区分 (標本数n=55)			改善度
		悪い(%)	普通(%)	良い(%)	
1)	朝の集合時刻	32(58.2)	20(36.4)	3(5.5)	-0.19
2)	服装や帽子	19(34.5)	30(54.5)	6(10.9)	-2.17
3)	競技規則(ルール)に関する審判員の指導	13(23.6)	30(54.5)	12(21.8)	3.66
4)	運営に関する審判員の技術的指導	11(20.0)	33(60.0)	11(20.0)	6.51
5)	仲間(競技補助員)との連携協力	4(7.3)	30(54.5)	21(38.2)	-3.82
6)	昼食や休憩時間	9(16.4)	24(43.6)	22(40.0)	-2.77
7)	総合的評価	9(16.4)	31(56.4)	15(27.3)	

出所:陸上競技研究75 (2008.NO.4) p.47

表 6 調査 F: 第 77 回日本学生陸上競技対校選手権大会 2008 (競技者)

アンケート項目		満足度の区分(標本数n=102)			改善度
		悪いf (%)	普通f (%)	良いf (%)	
1)	競技場の更衣室(広さやされいさ)	6(5.9)	67(65.7)	29(28.4)	10.96
2)	競技場のトイレ・シャワー(数やされいさ)	24(23.5)	47(46.1)	31(30.4)	3.78
3)	練習場施設(東京体育館陸上競技場やランプ下直走路)	33(32.4)	40(39.2)	29(28.4)	-8.48
4)	競技場の施設や用具	11(10.8)	44(43.1)	47(46.1)	-13.58
5)	競技会のルールや注意事項	6(5.9)	54(52.9)	42(41.2)	-10.96
6)	フィジオ(マッサージ)やアイシングの場所や広さ	15(14.7)	54(52.9)	33(32.4)	-0.3
7)	練習場や競技場における給水サービス	15(14.7)	33(32.4)	54(52.9)	-11.05
8)	あなたが参加した種目の競技開始時刻(早い、遅い)	20(19.6)	53(52.0)	29(28.4)	6.25
9)	練習場における審判員の対応	18(17.6)	55(53.9)	29(28.4)	-2.31

アンケート項目	満足度の区分(標本数n=102)			改善度
	悪いf (%)	普通f (%)	良いf (%)	
10) 招集所における審判員の対応	11(10.8)	58(56.8)	33(32.4)	-1.73
11) 競技場における競技開始前の練習(時間や場所など)	33(32.4)	45(44.1)	24(23.5)	5.26
12) 競技場における審判員の対応(運営や審判技術含む)	30(29.4)	51(50.0)	21(20.6)	18.02
13) アナウンス(選手紹介、実況、記録発表、表彰など)	14(13.7)	60(58.8)	28(27.5)	10.42
14) 競技運営の総合的評価	5(4.9)	63(61.8)	34(33.3)	

出所:陸上競技研究78（2009.NO.3）p.38

表7 調査 G: 第77回日本学生陸上競技対校選手権大会 2008（競技補助員）

		満足度の区分(標本数n=58)			改善度
		悪い(%)	普通(%)	良い(%)	
1)	E と 同 じ 項 目	23(39.7)	30(51.7)	5(8.6)	-0.9
2)		21(36.2)	29(50.0)	8(13.8)	-1.75
3)		17(29.3)	33(56.9)	8(13.8)	8.92
4)		21(36.2)	29(50.0)	8(13.8)	8.15
5)		8(13.8)	31(53.4)	19(32.8)	-16.85
6)		26(44.8)	25(43.1)	7(12.1)	1.62
7)		21(36.2)	28(48.3)	9(15.5)	

出所:陸上競技研究79（2009.NO.4）p.61

5. 考察

本稿では、とりわけ改善すべき事項に注目して考察したい。

競技者や学生補助員・審判講習生を対象とする調査結果から、改善すべき事項(改善度+5.0以上の指数)について改善度の高い順に列挙する。

1) 競技者からみた競技運営の改善事項

調査A（6項目）

- 跳躍種目における審判員の対応
- トラック種目における審判員の対応
- フィールド種目におけるテント・サービス
- 投てき種目における審判員の対応
- 試技(競技) 開始前の練習
- 初日や二日目における2種目以降の競技開始時刻

調査B（2項目）

- マッサージまたはアイシングの場所や広さ
- 競技場に入ってから競技開始前の練習

調査D（1項目）

- 平塚競技場の施設や用具

調査F（5項目）

- 競技場における審判員の対応(運営や審判技術含む)
- 競技場の更衣室(広さやきれいさ)
- アナウンス(選手紹介、実況、記録発表、表彰など)
- あなたが参加した種目の競技開始時刻(早い、遅い)
- 競技場における競技開始前の練習(時間や場所など)

まず始めに「審判員の対応」に注目しなければならないことがわかる。

学生審判員研修会の開催や関東学生陸上競技対校選手権大会・学生個人選手権大会・日本学生陸上競技対

校選手権大会を学生審判員の連携大会として学生審判員・補助員を同じ大学に委嘱、また、規則に対する資料の配布等を行ってきたが、今後も審判員のレベルアップを課題とすべきである。

次に「更衣室やトイレの清潔さ」である。これについては学生幹事の巡回等で清潔さの保持に気を使ってきたが、今後も課題の1つとしたい。尚、公共施設の使用については、自分よりも後に使用する人に不愉快さを感じさせないように配慮すべきであろう。

2) 学生補助員からみた競技運営の改善事項

調査B:含=審判員講習者(2項目)

○審判員の指導のしかた

○競技規則の習得

調査E (1項目)

○運営に関する審判員の技術的指導

調査G (2項目)

○競技規則(ルール)に関する審判員の指導 ○運営に関する審判員の技術的指導

学生補助員(含む、審判員講習者)は、競技規則や競技運営の知識習得に対する要求度が非常に高いと考えられる。従って、我々はその要求に応える手立てを考慮すべきである。

3) 改善の具体化について(例)

①フィジオ(マッサージ)またはアイシングの場所や広さについて

2006個人選手権大会の6)フィジオに関する項目の改善度指数が9.05であったので、それについて検討した。インターカレッジにおいては部員全員の集合で各選手のサポートシステムが各大学で確立されているが、個人選手権においては選手だけで参加している場合が多い。個人選手権大会の参加人数が少ない大学はフィジオ・チームの派遣がなされていないことにも要因があるのではないかと考えた。そこで、この競技会の救急システムの協力が得られないものかと相談したところ、「対校選手権でないので、できるだけことはやります。」という回答が得られ、フィジオの相談受付所が開設することができた。これがすべてとは考えていないが、競技者の一助になっていると確信している。

②競技場に入ってから競技開始前の練習(時間や場所など)について

2006年の改善度指数が5.06ということで、2007年の審判員会議で「競技前に審判員の指導において練習をさせて欲しい」旨をお願いした。その成果からか、-2.52という評価になった。

しかし、競技場が変わると、改善度が5.26となった。これを競技運営関係者は把握しておかなければならないことであろう。

4) その他

前項のように競技場が変わらなくとも、昨年、問題ない項目(競技場の施設・用具)が新たに高指数を示すこともあった。

6. その他

1) 研究方法、考察等については当該掲載号を熟読ください。その他の競技運営のポイントが掲載されています。

2) 競技者からみた競技運営のアンケート調査結果から、その概要が把握できたので、今後は審判員(学生含む)からみた競技運営のデータも収集(2009年度に実施済み)し、より満足度の高い競技運営を目指したい。

審判員に対するアンケート調査については、以前は審判員全体または個人評価になるだろうということで

不協力であったが、最近では、あくまでも競技運営の良きシステム作成等の資料にするということを理解していただけるようになってきた。そこで審判員の観点も含めて以後の資料分析を行いたい。実際、2009年度は審判員(含む学生審判員)にもアンケート調査に協力していただいている。

- 3) 分析の仕方については、全体だけでなく、男女別、学年別等に分析して多様な視点から検討したい。
- 4) 競技者だけへのサービスではなく、審判員、補助員、その上観客に対しても満足のいく競技運営にしたい。
- 5) 満足度や改善度の得点化から現われてこない事象、例えば直線ハードル種目、4×100mリレーの予選のウォームアップエリアやタイミング等についても知恵を絞っている。
- 6) 最後に、アンケート調査に協力していただいた競技者、学生補助員の皆様に感謝申し上げます。貴重な資料として競技運営に役立たせておりますことをご理解ください。

【 文 献 】

- ・陸上競技研究《第67号 2006 No.4 pp.45-49》
日本ICにおける混成競技の運営に関する満足度・改善度について (調査A)
平成18年6月9日~11日、日産スタジアムで開催された第75回日本学生陸上競技対校選手権大会(対象:競技者:混成競技)
- ・陸上競技研究《第69号 2007 No.2 pp.38-41》
学生審判員養成講習会に関する満足度・改善度について (調査B)
平成18年9月9日~10日、平塚競技場で開催された2006全日本学生陸上競技チャンピオンシップ(対象:競技補助員・審判講習者)
- ・陸上競技研究《第73号 2008 No.2 pp.34-39》
全日本学生陸上競技チャンピオンシップの競技運営に関する満足度・改善度について(調査C)
2006年(平成18年9月9日~10日)、2007年(平成18年9月7日~9日)、平塚陸上競技場で開催された全日本学生陸上競技チャンピオンシップ(対象:競技者)
- ・陸上競技研究《第74号 2008 No.3 pp.47-54》
日本学生陸上競技個人選手権大会の競技運営に関する満足度・改善度について(調査D)
平塚陸上競技場で開催された2006年(平成18年9月9日~10日)、2007年(平成19年9月7日~9日)、全日本学生陸上競技チャンピオンシップと平成20年6月6日~8日、2008日本学生陸上競技個人選手権大会(対象:競技者)
- ・陸上競技研究《第75号 2008 No.4 pp.43-48》
競技運営に関する競技補助員の満足度・改善度について (調査E)
平成20年6月6日~8日、平塚競技場で開催された2008日本学生陸上競技個人選手権大会 (対象:競技補助員)
- ・陸上競技研究《第78号 2009 No.3 pp.35-40》
日本学生陸上競技対校選手権大会の競技運営に関する競技者の満足度・改善度について(調査F)
平成20年9月12日~14日、国立競技場で開催された第77回日本学生陸上競技対校選手権大会(対象:競技者)
- ・陸上競技研究《第79号 2009 No.4 pp.58-63》
日本学生陸上競技対校選手権大会の競技運営に関する競技補助員の満足度調査(調査G)
平成20年9月12日~14日、国立競技場で開催された第77回日本学生陸上競技対校選手権大会(対象:競技補助員)

(神尾正俊・阿保雅行)

学連だより（北海道）

今年度の北海道学生陸上競技連盟は3年生6名、2年生3名、1年生8名の計17名で活動中。学連員のほとんどは競技者で、それぞれ練習との両立に日々励んでいる。今回は北海道学連の1年の流れをお知らせする。

4月 学連競技会第1戦

札幌の競技場はまだ冬期間で使用できないため、千歳で開催。まだまだ寒い。

5月 学連競技会第2戦、北海道IC

ゴールデンウィークに第2戦、5月末にインカレ。この時期まだ新1年生は学連に入っていないので、インカレ取りまとめと競技者として練習の両立が大変。学連員の中でも地区優勝を果たし、日本インカレに出場する者もいる。

6月 北日本インカレ

中間テストの時期とかぶって、派遣にみんな行きたがらない。

7月 学連中長競技会第1戦

さすがに暖かくなってきた北海道。気候条件の良い岩見沢で毎年行われている。

8月 スプリントトライアスロン兼中長記録会第2戦、北海道大学駅伝

100m、200m、400mの短距離混成競技会がある。優勝者には景品が贈られる。新1年生も学連活動に本格参加。今年度はこの競技会後に学連新歓を行ったが、予約した店で高校生集団と間違えられるという奇跡(ワイシャツ黒ズボンは高校生スタイル)。8月末には駅伝。帰省の時期にみんな悩まされる。

9月 北海道チャンピオンシップ

この大会から2年生中心に活動を進めていく。大学によっては、4年生の引退試合の記念として10種競技に出る者もいる。そのため混成棒高跳のタイムテーブルを決めるのに悩まされる。

10月 学連競技会第3戦

今年度は都合上開催されなかったが、例年はこれが学連の最終戦で、3年生はとりあえず引退という形をとる。

以上が、北海道学連の1年間の流れである。

来年度はこれに加えて北日本インカレが北海道開催である。北海道のみならず東北・北信越の選手たちにも満足してもらえるような競技運営を学連員みんなでこころがけていきたい。

来年の今頃は「今年の北海道学連は良かったな」と多方面から言われるよう、この冬季期間しっかり準備をしよう。もちろん、「あいつ学連やってるのに強いんだよな」と他の選手にも恐れられるような存在になることも忘れずに、競技者としても練習を怠らないと誓う今日この頃である。

北海道学生陸上競技連盟

秘書 藤田 光

学連だより(東北)

仙台駅から仙石線で1駅、榴ヶ岡駅から徒歩5分の好立地に、我々東北学生陸上競技連盟の事務所はひっそりと佇んでいる。宮城県内の各大学から選ばれた学生幹事たちは、近くの某スーパーの閉店間際の値下げ弁当を食べつつ、すぐ近くのスタジアムから聞こえる楽天ファンの声援を自分たちへのエールに置き換えて、夜な夜な業務に勤しんでいる。

今年度本連盟は、第62回東北学生陸上競技対校選手権大会を開催した他、北海道上学連・北信越学連の協力の元、東北学連が主管として第31回北日本学生陸上競技対校選手権大会を仙台市で行なった。北日本というスケールの大きさをゆえ準備段階では苦労が多かったが、宮城陸協・大会役員の先生方、各大学の補助員など多くの人たちにご協力いただき、盛況のうちに大会を終えることができた。また、仙台開催になって5回目の第27回全日本大学女子駅伝対校選手権大会では、準備や当日の現場運営の面で大会に携わった。連合、読売新聞社の方々と協力しながら、前年の大会よりももっとより良いものにしようという思いに突き動かされ、毎日のように深夜まで準備に力を入れた。当日は多少のトラブルもあったが、大会新記録が2つ、区間新記録が5つ誕生するなど、選手が役員冥利に尽きる活躍をして大会を盛り上げてくれた。大会シーズンもひと段落した今は、20傑の作成や来年度の準備に追われているところである。

そんな事務所に、先日常任幹事として長年本連盟を支えてくださった先輩が亡くなったという訃報が入った。東北学連に彼ありき、と言っても過言ではないほど、彼は私たちにとって大きな存在だった。ことあるごとに相談に乗っていただき、幹事長である私も何度も先輩を頼っては助けていただいた。全日本大学女子駅伝では東北学連選抜の監督を務めるなど選手からの信頼も厚かった。彼が東北学連にもたらしてくれたものは数多くある。彼の遺志を継ぎ、我々は日々さらに向上していかなければならないと強く感じている。

寒く厳しい冬が終わると、東北の地にも暖かい春がやってくる。選手たちは冬の期間に力を蓄え、シーズンが始まると全国の舞台や自己記録の更新を目指してまた熱い戦いを繰り広げてくれるに違いない。私たち東北学連は、そんな選手たちが最大限のパフォーマンスを発揮できる環境をつくるために、全力で大会運営に当たっていく所存である。今後とも本連盟を暖かく見守ってくださるよう皆様をお願い申し上げ、文章を締めくくりたいと思う。

東北学生陸上競技連盟
幹事長 洪江 裕介

CITIZEN®



時代を凌駕する、 ネクストスタンダード

エコ・ドライブ電波時計の可能性を、さらに広げたシチズン。

それが世界初のディスク式都市選択機能を搭載した“ダイレクトフライト”です。

シンプルな操作で、UTCと世界26都市ごとの時差に対応して時刻・カレンダーをすばやく切り替え。

世界マルチバンド受信ワールドタイム電波時計の次世代スタンダードモデルです。

アテッサ ジェットセッター ダイレクトフライト

ATD53-3011 ¥105,000 (本体¥100,000) 価格は、税込みメーカー希望小売価格です。 ※アナログ電波時計において2009年8月発表時点、当社調べ。

世界に先駆けた比類なき機能を搭載。



世界初のディスク式都市選択を可能にした“ダイレクトフライト”

■世界26都市と協定世界時 (UTC) の時刻を一枚のディスクに集約したワールドタイム機能。

■各都市を選択すると自動的に時差を修正し、3つのアナログ針で瞬時に時刻を表示。

<主な搭載機能> … ●ディスク式都市選択機能“ダイレクトフライト”
●パーフェクスマルチ3000 (世界4エリア [日本、中国、北米、欧州] 標準電波受信 / JIS1種耐磁 / 衝撃検知機能 / 針補正機能) ●1/5秒運針アナログ式クロノグラフ
●パーペチュアルカレンダー ●アナログ式充電量表示機能 ●アラーム ●サマータイム
自動修正 ●24時間表示 ●26都市ワールドタイム ●協定世界時 (UTC) 表示

ATTESA <http://citizen.jp> シチズン時計株式会社

商品のお問い合わせは「シチズンお客様時計相談室」0120-78-4807まで。(受付時間/9:30~17:30 祝日を除く月~金)
●商品の仕様は、改良のため一部変更になる場合があります。また商品の色調は印刷物につき実物と異なる場合があります。



Eco-Drive®